

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
基本構想・基本計画 全体			
1	大きなビジョンが必要ないということではないが、今必要なのは具体的なたくさんの方法の提示だと考える。	新たなビジョンは今後のまちづくりの方向性(=戦略)を示したものであることから、具体的な取組等(=戦術等)については、分野別計画や毎年度の予算等で提示してまいります。その際は、市民の皆様に分かりやすく伝わるよう工夫してまいります。	4
2	全体のビジョンと自分の町内の未来を描けるビジョン。グローバルな視点で推進する経済活動。地域を安定させる政策。これらに分かりやすく伝える工夫が必要。		3
3	全体的に短く簡潔だが、市長の考え、目指す方向性がよくわかる。全方位を網羅してはいないが、基本構想・計画は市の目指す姿を示すものなので、このように、わかりやすくシンプルなものもありだと感じた。	ご意見のとおり、まちづくりの方向性を市民の皆様と共有するため、できるだけ簡潔にまとめるようにしています。	1
4	ミライトークで、新ビジョンへの市長自らの熱い思いを聞き、とても共感できたが、構想や計画を皆が熟読するとは限らない。わかりやすい、新ビジョンのシンボルとなるキャッチフレーズやロゴなどがあれば、より多くの人や企業に伝わるのではないかと。	ご意見のとおり、新たなビジョンを広く市民の皆様と共有していくために、今後、キャッチコピーなどを検討してまいります。	3
5	基本構想、基本計画をPRする際には、キャッチコピーやロゴがあったほうが市民にとってイメージしやすいと思う。		3
6	3つの重点戦略は簡素になっているのでわかりやすい反面、内容に偏りを感じた。稼げるまちはわかるが、それ以外はイメージしにくく、目標は伝わるが方法があるのか伝わりにくい。HPでの閲覧やシンポジウムなど、各戦略についてもっと詳しく知る機会が欲しい。	新たなビジョンについては、ご意見も参考に、策定後に市民の皆様にも広く周知を図るとともに、説明の機会を設けることなども検討してまいります。また、具体的な取組等については、分野別計画や毎年度の予算等で提示してまいります。	3
7	一歩先ではなく、もっと先(10年~20年)を見据えた、ビジョンの作成が必要ではないか。もっとインパクトのある内容でないと誰も見向きもしない。人口は急には増えない。それを前提にビジョンを作るべきだと思う。	基本計画の計画年次を2040年までとし、人口についても中長期的な視点をもって、都市の総合力を向上させることにより、その増加を図ることとしています。	1
8	学歴、能力、障害の有無、国籍、貧富など、あらゆるものを分別する相対的な価値観を離れて、住民を包括的に護り、活躍の場を創造し、渾然一体となって暮らしていける北九州市を目指してほしい。素案は包括的と渾然一体が欠けている。教育においても、さまざまな人、文化を包括的に受け入れることを当たり前とする価値観を育てることが重要。	基本構想第2章1の「年齢や性別、国籍に関わらず～」など、新たなビジョン全体を通じて包摂性の重要性を踏まえた記述をしています。	1
9	市内市長には期待しているが、素案の内容は北橋市政の「元気発進!北九州プラン」と変わらないのではないかと。また、一万人以上の北九州市を出て行った元市民の意見を聞くことも重要ではないか。具体的な目標数値を示した事を重要視しているが、達成できなかった時の身の振り方まで言及されてはどうか。	新たなビジョンの特徴として、目指す都市像の実現に向け、まずは「経済成長」を最優先課題に位置づけ、3つの重点戦略による「成長と幸福の好循環」を動的に創っていくこととしています。そのため、基本構想に掲げる3つの重点戦略については、各戦略を並列で総花的に並べるのではなく、有機的につながり、前向きな動きのあるものとしています。また、それぞれの戦略では、これまでの北九州市政の実績も引き継ぎながら、その強化や新たな取組にも挑戦してまいります。市外転出者の方々については、アンケート調査を実施し、ご意見をいただいております。その結果は市HP(https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kikaku/28500290.html)で閲覧できます。成果指標については、目標年次までの達成を目指し、取組を進めてまいります。	1

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
10	北九州市ならではの視点が見つからない。人口減少傾向にある中核都市のどの名前を被せても違和感のない内容。日本全体が急激な人口減少にある中で、いかにして少ないパイを取り込もうかという発想を見直した方がいいのではないか。人口を増やすことにこだわりすぎた近視眼的な印象を受ける。	新たなビジョンでは、北九州市のこれまでの歩みや個性、強みを踏まえ、目指す都市像やそれを実現するための重点戦略を示しています。また、人口増を目指す理由については、基本計画第5章に記述しています。キャッチコピーについては、新たなビジョンを広く市民の皆様と共有していくために、今後、検討してまいります。	1
11	目指す都市像は北九州市の姿をストレートに現しておらず、名前を替えば、どの都市や企業の紹介文になってもおかしくない。前文にも、四大工業地帯の一つとして百万都市となった歴史と、人々の「挑戦」のつながりを、誰もが北九州市をイメージできるキャッチコピーで示す表現が必要ではないか。そのキャッチコピーは「メガ・タウン」を使ってはどうか。		1
12	今の市長になってから改善を感じていることが書かれておらず、地域の課題とポテンシャルを感じさせない漠然とした絵空事のように、住民として期待感が持てない。既存の市民向けの目線が強く、これから市民になってほしい層へのアプローチが弱いと感じた。	新たなビジョンは、北九州市のこれまでの歩みや個性、強みを踏まえ、目指す都市像やそれを実現するための重点戦略を示すものです。具体的な取組等については、分野別計画等で提示してまいります。また、市外の方に北九州市の魅力を発信し、来ていただくことは重要な視点であり、これを踏まえた記述をしています。	1
13	北九州市の内側からだけみた戦略の様にも見える。外からも見るべき。人口が減るという視点になり切れていないことは、北九州市の抱える課題を先送りしているかのようにも見える。人口減の視点はもっと積極的に市民に説明すべきではないか。バックキャストिंगの視点を取り入れることも必要。	北九州市を外からの視点で捉えることも重要と考えており、新たなビジョンの策定にあたっては、有識者をはじめ、様々な方々からご意見をいただいています。人口については、減少している現状を踏まえながらも、人口増を目指す必要性を基本計画第5章に記述しています。また、新たなビジョンにおいては、目指す都市像の実現に向け、経済成長の実現を最優先課題とし、3つの重点戦略による好循環を生み出すという方向性を示し、高い成果指標を設定するなど、バックキャストिंग的な視点も取り入れています。	1
14	人口減少は国の失策。人口を増やすためにカタカナ混じりのわかりにくいプランを並べないで、地球環境を見据えてあるべき街づくりを描いてほしい。	新たなビジョンでは、人口減少や少子高齢化、世界的な地球温暖化など、北九州市を取り巻く社会課題を踏まえ、目指す都市像とそれを実現するための重点戦略を提示しています。表現については、ご意見も参考にできるだけ分かりやすくなるようにいたします。	2
15	「一歩先の価値観」という視点は、市の歴史やポテンシャルを踏まえ、今後どう歩んでいくのか普遍的な方向性をわかりやすく示したものと感じる。これを基本計画等にもどの様にブレイクダウンしているのかという記述を基本計画第1章で示すことで、より分かりやすいものとなるのではないか。(イメージ図等で示せないか)また、基本計画の3つの重点戦略の中で、一歩先の価値観という切り口による特徴づけができれば、従来の計画との差別化も出来る。今まで「稼げるまち」のフレーズが独り歩きしすぎた感が否めない。「一歩先の価値観」をもっと前面に打ち出せればと考える。	基本構想では、目指す都市像とその実現に向けた3つの重点戦略が動的に連関していることを示しています。また、基本計画ではその重点戦略に基づく主要な政策をまとめ、目指す都市像から基本計画の主要政策までの体系化を図っています。こうした考えを踏まえ、分野別計画や毎年度の予算等で具体的な取組を行いながら、市民一人ひとりが新たな「一歩先の価値観」を体現できるまちを目指してまいります。ご意見については、今後、新たなビジョンを市民の皆様へ説明する際の参考とさせていただきます。	3
16	地方自治法に規定された「住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする。」という北九州市の役割について、基本認識を明確にすべき。また、このまちの主人公は市民であるとの観点も、明記すべき。	ご意見を踏まえ、基本構想第2章1に記述を追加・修正します。また、市民が主役というご意見については、基本計画第1章4に趣旨に沿った記述をしています。	2

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
17	新たな基本構想は、初めて地方自治法ではなく、北九州市自治基本条例にもとづいて策定される。地方分権時代という観点で特徴的なことである。冒頭挨拶文に記載してもよいのではないかと。また、自治基本条例が希求する「市民自治」の発展に寄与する旨を記述すると基本構想に一層の幅と厚みが増す。	直接的な記述はしていませんが、基本構想・基本計画については、北九州市自治基本条例の趣旨に沿って策定しています。また、基本計画第1章4に、まちづくりの主役である市民の皆様をはじめ、企業、事業者、地域団体、行政など、各ステークホルダーの役割と連携を示し、「市民自治」を掲げた自治基本条例の目的に沿った記述をしています。	4
18	全体的に「文化」「文化芸術」「文化・芸術」と表記が混在している。	ご意見を踏まえ、統一すべき部分の記述を修正します。	2
19	新たなビジョンの第一目標は「稼げるまち」だが、子ども対象や社会包摂的な文化芸術施策は、概して稼げず、成果がすぐには見えて来ない。長期的視野にたつて、「文化芸術により『人づくり』、『生きがいづくり』、『住みよい社会づくり』を進めるまち」というビジョンが共有できると良い。	新たなビジョンでは、まずは経済成長を実現し、これにより高まる物心両面での多様なライフスタイルニーズに応えるため、「彩りあるまち」を実現することとしています。そのなかで、心身に潤いや活力を与える文化芸術の振興を図ってまいります。ご意見については、関係部局に伝え、今後の参考とさせていただきます。	3
20	北九州市文化振興計画にある「創造都市」という単語がひとつもない。行政の連続性から見れば、おかしいのではないかと。	新たなビジョンは今後のまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な文化施策等については、分野別計画等で提示し、実施してまいります。	4
21	全体的な市の観光戦略としての観点をもっと書き込んではどうか。	観光の振興については、基本計画第3章2-(3)や基本計画第7章に記述しています。具体的な取組等については、分野別計画や毎年度の予算等で提示してまいります。	4
22	市民に要望すること、期待することの有無はいかに。有るのならどんなことか。	市民の皆様には、まちづくりの主役として新たなビジョンを共有し、市全体一丸となって目指す都市像の実現に進んでいただきたいと考えています。基本計画第1章4に、まちづくりの主役である市民の皆様をはじめ、企業、事業者、地域団体、行政など、各ステークホルダーの役割と連携を示し、「市民自治」を掲げた自治基本条例の目的に沿った記述をしています。	1
基本構想 北九州市が目指す都市像			
23	目指す都市像にある「つながり」、「情熱」、「技術」がなぜ選ばれているのか、なぜグローバルなのか、説明が不足して分らない。		2
24	「北九州市が目指す都市像」について、北九州市の課題、目標、ポテンシャルなどが全く伝わらない。特に「スポットライト」「イキイキ」など具体性のない表現は要点をわかりにくくしている。具体的な展望が見える方がよい。	ご意見を踏まえ、より分かりやすくなるよう、目指す都市像についての記述を追加します。	2
25	都市像の「一歩先の価値観を実現する」については、「…創造する」の方がよい。価値観は物事の価値についての考え方なので、「実現する」はやや違和感がある。	ご意見を踏まえ、「体現する」という表現に修正します。	2
基本構想 第1章 北九州市の挑戦			
基本構想 第1章1 北九州市の歩みと個性			
26	「北九州市の挑戦」の内容がありがたかりであり、これまでの考え方と何ら代り映えがしない。	基本構想第1章1は、これまでの北九州市の主な歩みに関する記述となるため、これまでの基本構想・基本計画と共通する部分はあります。基本構想第1章2では、これまでの北九州市の歩みを踏まえ、「一歩先の価値観」という新しい考え方を盛り込んでいます。	1

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
27	北九州市の自然やルネッサンス構想時代のまちづくりの骨格形成を記載するべきではないか。公害の克服以降の記載が環境分野に特化しすぎではないか。	ここでは、北九州市の主な歩みとそれに伴い培われた個性について記述しています。	4
28	(1)について、北九州市は非核平和都市宣言の認識に基づく記載があるべき。これまでの「基本構想」でも、「市民に平和の尊さを理解してもらおうとともに、これを後世に伝えていくことに努めます。また、都市間・市民レベルでの国際協力や国際交流活動の充実を図り、平和への貢献につなげていきます。」と、北九州市としてのスタンスを明確にしている。	ここでは、北九州市の主な歩みとそれに伴い培われた個性について記述しています。平和の大切さに関する取組については、基本計画第4章2-(1)に記述しています。なお、ご意見にある平和に関する記述については、これまでの基本構想・基本計画では基本計画の分野別の「施策」の中で提示していますが、新たなビジョンは「政策」レベルまでの記述としています。	4
29	(2)の「歴史や文化、祭り、食、暮らしなど～」は、旧五市の特色を正確に反映しているとは言えない。これを「港・歴史や商業・文化、資源開発、ものづくり、技術教育など～」としてはどうか。	ここではイメージしやすい代表的な例を示しており、その他の事項については「など」に含まれるものとしています。	4
30	(3)に記載されている企業が世界的な企業であることは十分認識しているが、基本構想の文言に個別の企業名を記載することに違和感がある。	「ものづくり」のまちとしての個性を分かりやすく示すため、北九州市を代表する世界的な企業を例示しています。	4
31	(3)について、「環境と多様性」に舵を切り、製造業を軽視したことが、北九州市の経済力低下の原因となった。「明治日本の産業革命遺産」登録で活躍した加藤康子氏は、北九州市を物作りの街として再生することが重要との考えを述べている。加藤氏をアドバイザーに迎えて、観光と産業政策につき意見を聞くべき。	ご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
32	(5)について、「産学官民連携の力」を補足するために、「婦人会が立ち上がり、それを契機に企業と行政・研究機関も一体となって公害を克服しました」としてはどうか。	ご意見を踏まえ、基本構想第1章1に記述を追加します。	2
33	(6)で北九州エコタウンの内容の見える化(稼ぎ率・CO2遮減率等)をするとより分かりやすい。	ここでは、北九州市の主な歩みとそれに伴い培われた個性について総論的にとりまとめていることから、施設の詳細等は記述していません。	4
34	(7)で水道代の安さ・上下水道の整備のよさ・水源が多く渇水の危険性が低いこともアピールしてほしい。また、(8)に統一教会との断絶決議について記載してほしい。	ここでは、北九州市の主な歩みとそれに伴い培われた個性について記載しています。新たなビジョンに記述はしませんが、ご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考にさせていただきます。	3
35	(8)について、暴力団だけに絞り込まず、日常生活全般へも広げる視点で。	日常生活における「安全」等については、基本構想第2章2-(3)や基本計画第4章に記述しています。	1
基本構想 第1章2 北九州市が考える「一歩先の価値観」			
36	一歩先の価値観が分かりにくい。拠り所となると書いているが、これは実現できているということか。都市像では、これから実現するように見える。	素案で提示した3つの価値観とは、北九州市のこれまでの歩みによって体現してきたものを記述しています。すべては盛り込めませんが、ご意見を踏まえ、基本構想に記述を追加・修正します。	2
37	一歩先の価値観が理解できない。		2
38	「一歩先の価値観」は、これらの価値観が現在欠けているから獲得しようというのではなく、すでに北九州市の特徴としてこれらを共有しているのだから、これを使って成長していこうという市民へのメッセージだということがはっきりわかるように、そして市民を勇気づけるような書き方にしていきたい。		2
39	タイトルから市が考えた価値観を一方向的に押し付けるニュアンスを感じる。市民や企業なども含めた「北九州市」であることが伝わりやすいように、「北九州市が持つ『一歩先の価値観』」としてはどうか。		2
40	「能力開花」、「利他の精神」、「持続可能」というコンセプトは、これまで言われてきたことであって、これを「一歩先の価値観」として打ち出すことに斬新さを感じない。		2

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
41	示された3つの価値観は、一步先というよりは、人が生きていく上での根源的な価値観ではないか。一步先の価値観というと、「街を楽しむ」や「自由気ままに」などの誤解を与えるのではないか。		2
42	「能力開花」「利他の精神」「持続可能」を実現するために具体的に何をすることが書いてない。「利他の精神」を呼び覚ますよすがとして、QUEENを活用してほしい。DVD「ボヘミアン・ラブソディ」を見て検討してほしい。		2
43	示された3つの価値観には、「一步先の」の「先」が十分に反映されていない。「創造的なものづくり精神」は、北九州市の「一步先の価値観」のコアであるともいえる。是非説明の中に補足してほしい。		2
44	「一步先の価値観」に、「新しいことに挑戦する文化」や「不屈の精神」も含めてはどうか。		2
45	「まちも人も徐々に元気を失って」とあるが、人が元気を失ってというのは、「情熱」や「つながり」と矛盾するのではないか。「人」は削除してはどうか。		2
46	中段の「アジアにおいても、…」の件は、北九州市との関係においてどんな意味があるのかわからない。あえて書く必要があるのか。		2
47	最後の「だからこそ、…」の部分は、北九州市の優位性、可能性を表現したものだが、冒頭の「時代に対応できず」、「人口も減り始め」、「元気を失って」きたことは、何が原因なのかの分析がなければ、辻褄が合わないのではないか。	素案で提示した3つの価値観とは、北九州市のこれまでの歩みによって体現してきたものを記述しています。すべては盛り込めませんが、ご意見を踏まえ、基本構想に記述を追加・修正します。	2
48	「～女性活躍などの分野において、その地位が年々低下しています」と言い過ぎ。「～女性活躍などの分野において、その実績と国際ランキングが低下しています」としてはどうか。		2
49	少子高齢化や気候変動など全ての都市に共通する課題を書くだけでなく、地理的優位性など北九州市独自の内容を積極的に書き込むべき。官営八幡製鐵所の誕生、関門鉄道トンネルの開通などによる九州の玄関口としての地位獲得、鉄鋼生産拠点としての優位性の喪失、鉄道時代から航空時代への対応の遅れ、北九州空港の開港や東九州道の開通などによる交通の拠点性獲得などを書き込むことで、北九州市が「一步先の価値観」を獲得してきた歴史と今後の北九州市の飛躍が必然であることを理解することができる。		2
50	最初の1～4行目を、「オイルショック後の「鉄冷え」、それが発端となった製造業の合理化の進展に伴う人員削減、1980年代半ば以降の円高や貿易不均衡是正策の推進による製造業の海外移転などが、北九州市の経済活動を直撃しました。さらに、工業都市と支店経済都市としての両面を持ち合わせる九州最大の拠点都市でしたが、1970年代に劇的に起きた鉄道から航空へのシフトへの対応が遅れ、陸路から空路にシフトする時代への対応が遅れ、企業・事業所の市外転出が相次ぎます」としてはどうか。		2
51	「都市のDNA」が突然出てきて意味がはっきりしない。説明を追加するか、第1章1にあわせて「個性」など、別の言葉を使った方がよいのではないか。	北九州市のこれまでの歩みの中で培われ、受け継がれてきた特性を「都市のDNA」と表現しています。ご意見を踏まえ、記述を追加します。	2

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

【意見の反映状況】

- 1:既に掲載済
- 2:追加・修正あり
- 3:今後の参考とするもの
- 4:追加・修正なし
- 5:その他

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
52	北九州市の「一歩先の価値観」とは「市民一人ひとりや～」、「市民が相互に～」、「地域が直面する課題を地域の力で～」とすべてが他人任せ。地域は高齢化が進み、そんな元気はない。中小企業もアップアップ。自治会の活動も高齢者に任せっきりで「持続可能性」などはない。市職員を職務の一環として自治会活動に参加させ、若い世代の参加を促進させるべき。	目指す都市像の実現にあたっては、まちづくりの主役である市民の皆様一人ひとりが、まちの将来像を「自分ごと」として捉え、産学官民で総力をあげ、北九州市が一丸となって政策を進めていく必要があります。そのため、基本計画第1章4に各ステークホルダーの役割を示しています。また、地域の力を今後とも発揮していくための政策を基本計画第4章2-(4)に記述しています。市職員の自治会活動については、引き続き参加促進に取り組んでまいります。	1
53	北九州市が考える「一歩先の価値観」で高齢者の能力活用の仕組を掘り下げてもらいたい。人口減少にすでに直面している事実の中で考えていく必要があるのでは。	ご意見のとおり、高齢者の活躍は重要な視点と考えており、基本構想第2章2、基本計画第2章2-(4)、第4章2-(5)に趣旨に沿った記述をしています。	1
基本構想 第2章 目指す都市像の実現に向けた3つの重点戦略			
基本構想 第2章1 3つの重点戦略による「成長と幸福の好循環」			
54	「稼げるまち」や「彩りあるまち」の実現によって子育てや保健・医療・介護・福祉などの分野において質の高いサービスが提供されるというのは本末転倒。強い経済が実現し、消費への意欲が高まらなければ安心と安らぎが感じられる暮らしが実現しないように思われるので、優先順位を逆転させてほしい。	現在、北九州市は、経済成長の停滞傾向が続いているうえ、市の財政状況も厳しく、まちが活力を失い、様々な政策を実施する十分な財源がありません。そこで、新たなビジョンにおいては、経済成長を最優先課題に位置付け、これを実現させることで、まちの活力の向上や税収の増加などを図ります。その成長の果実をもって、市民の「安らぐまち」の実現へとつなげ、「まちの成長」と「市民の幸福」の好循環を創出してまいります。一方で、ご意見を踏まえ、表現についてはより分かりやすくなるよう、基本構想第2章に記述を追加・修正します。また、安全・安心な暮らしについても、市民生活の基本となる大切な部分であることから、基本構想第2章に記述を追加します。	2
55	人口増加とそれに伴う経済成長を目指すあまり、地域社会にある差別解消や脆弱な立場にある人々への社会保障の記述が不十分であると言わざるを得ない。		2
56	「稼げるまち」が実現すればいいと思うが、市民生活もしっかり守るという言葉が欲しい。		2
57	稼いで、彩りで、安らぐにつながるのか分かりにくい。市民の生活は最後なのか。		2
58	まずは、最優先で「稼げるまち」の実現、それが実現したら次に「彩りあるまち」、そのあとに「安らぐまち」の実現につなぐという表現になっている。中・長期の戦略は当然必要だが、少子・高齢化への対応や、厳しい市民の暮らしを支える施策など、一刻の猶予もならない課題が山積している北九州市の現状に即応する観点が必要。		2
59	「稼げるまち」は行政が作る計画にはなじまないのではと思ったが、市長の説明で、成長と幸福のための循環のきっかけとして、今の北九州市に大事なことなのがよく理解できた。素案ではそうした考えが少し分かりにくいので、整理をした方が良いのではないかな。		2
60	3つの重点戦略「稼げるまち」、「彩りあるまち」および「安らぐまち」に賛同する。基本構想の第2章1にあるように、限られた財源や資源のなかで、重点戦略に優先順位をつけ、好循環を生み出すことは重要と考える。		「稼げるまち」の実現を最優先課題に位置付け、まずは都市の経済力を高め、これを起点に3つの重点戦略による「成長と幸福の好循環」を実現してまいります。
61	稼げるまち、彩りのあるまち、安らぐまち、がうまくつながって、まちが潤っていく好循環が本当に実現できるかは、市の職員の頑張り次第。実現できれば、北九州市での生活が幸せなものになりそう。期待している。		1

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
62	3つの重点戦略には、「自然環境」に対するビジョンがほとんど示されておらず、自然環境保全意識の欠如、自然環境の崩壊につながるのではと感じた。地球環境の危機が叫ばれる昨今、人間以外の生命の包摂性を考えることは「一步先の価値観」の構築につながる。4つ目として「自然と共生するまち」という文言を加える必要がある。また、具体的取り組みとして、自然環境への普及啓発、自然環境を啓蒙する市民活動のバックアップと市内のミュージアムの連携、E S D・S D Gsの推進などが必要。		2
63	世界の社会課題として気候変動問題やカーボンニュートラルはあがっているが、「生物多様性の保全」がない。曽根干潟等々、唯一無二の貴重な財産を有している事を踏まえ、「生物多様性の保全」を記載してほしい。	基本構想第1章1のとおり、北九州市の「環境先進都市」、そして「SDGs未来都市」としての取組は国内外で評価されており、大きな強みであります。引き続き、自然環境の保全を含めた環境分野での取り組みを進めてまいります。また、ご意見を踏まえ、基本計画第3章1-(1)に「自然環境の保全」の記述を追加します。具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	2
64	世界中の海水を凍らせて海水温を下げる、アイドリングストップステッカーの作成、花火大会等空気を汚染する催しの廃止、一戸建てを増やし木を植えることなどを提案する。COP28で言ってる様な2030年迄にCO2削減とか悠長な事言ってる場合ではない。この先地球上の人達が無事暮らせる様、北九州から発信される事を願う。		3
65	曽根干潟のラムサール条約湿地登録を目指すこと。		3
66	響灘ビオトープ及びその周辺を日本初の「チュウヒ保護区」に指定すること。		3
67	全国的な問題である風力発電と太陽光発電設置における自然環境と住民への影響について対策を早急に決定すること。		3
68	近隣の都市と比べて北九州市の大気は悪いと感じる。北九州市は公害を克服した街と謳われているが、それは過去のこと。今は悪化している。初心に帰り見直す必要がある。		3
69	小倉でかねてより気になってきたのが、空気の悪さ、工場の臭い。		3
70	「稼ぐ・彩り・安らぐ」もよいが、「人間を育てる。強い市にする。」を入れてはどうか。「人を育てる教育立市」をさらに進める。	人材育成は重要と考えており、基本計画第2章2、第3章3に趣旨に沿った記述をしています。また、強い経済や災害に強いまちの実現に向けた取組を進めてまいります。	1
71	「稼げるまち」を「豊かなまち」または「潤うまち」に表現を変えてはどうか。稼げるという言葉に良い印象もあるが良くない印象もある。お金だけの印象が強い。		4
72	「稼げるまち」とは言葉そのものに魅力がなく、短絡的であるので変えるべき。	目指す都市像の実現に向け、まずは経済成長に取り組むという方向性を市民や企業の皆様と共有するため、分かりやすい表現を使っています。	4
73	「稼げるまち」については、市内外の企業や市外の人たちに対して、北九州市が産業政策に力を入れていくという、分かりやすいメッセージになっており、ありきたりな平凡なフレーズを使うよりも大変良いと思う。		1
74	「市外に流出している若者や女性などにこのまちに留まってもらい」とあるが、人的資本の蓄積につながることから、人が流出していくのは悪いことではない。重要なのは彼らが戻ってきてくれるかどうか。そこで、「市外に流出している若者や女性などにUターンしてもらい」としてはどうか。	北九州市に住み続けたいと思う若者や女性を増やすことに加え、Uターンについても重要と考えており、基本計画第2章2-(2)に趣旨に沿った記述をしています。	1

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
75	市外から訪れて魅力を感じたからそのまちに住み、人口が増えるという考え方が成立するのか疑問。まちを訪れて魅力を感じることがそのまちに住むきっかけになるというデータに基づいた戦略なのか。まちの魅力と人口がリンクするというデータが有るのか。	まちの魅力を発信し、まずは北九州市を知ってもらうことが重要であると考えています。その中で「稼げるまち」の実現により魅力的な雇用の創出などを図り、市外からの移住につなげてまいります。	4
76	歯車みたいなイラストは他所の真似ではないかという指摘があるので削除した方がよい。この手の意味のないイメージを載せるより、各ページの見出しデザインやレイアウトを見やすくしてほしい。	歯車のイラストは3つの重点戦略による「成長と幸福の好循環」を分かりやすくイメージできるよう今回新たに作成いたしました。ページデザイン等へのご意見については、今後の資料作成の際の参考とさせていただきます。	4
基本構想 第2章2 3つの重点戦略			
77	基本構想第2章2-(1)に「若者や女性、高齢者も障害のある人も」とあるが、国外からも人や企業を呼び込もうとしているのだから、「外国人」も入れてはどうか。	ご意見を踏まえ、基本構想第2章2-(1)に記述を追加します。	2
78	「若者や女性、高齢者も障害のある人も」を「若者や女性も、高齢者も障害のある人も、外国出身者も」としてはどうか。		2
79	環境モデル都市としては、地球温暖化・沸騰化等に対する視点が弱いのではないかと。食料の問題は見えにくい、非常にやっかいな課題になるのではないかと。	基本構想第1章2のとおり、世界的な気候変動は、北九州市を取り巻く大きな社会課題の一つと捉えています。また、基本計画第2章3-(5)のとおり、農林水産業の安定生産・増産に向けた取組を進めてまいります。安全保障等に関するご意見については、関係部局に伝え、今後の参考とさせていただきます。	1
80	安全保障や気候変動などの視点が必要ではないか。貿易自由化等で安い食料等が入ってくると日本全体食料生産がおぼつかなくなるのでは。稼ぐ部分と同様に生存権に係る領域等も地方自治体の戦略に組み込む時代になりつつある。環境モデル都市と言われながら、もう少し先を見る戦略をも入れてないと「今だけ」的になるのかも。		1
81	2040年に推計される80万人にとって重要な問題は何かと想像した時、地球規模の環境変化によって生きる基盤である水や食料、そしてエネルギーの安定供給が切実な切り口になるのではないだろうか。		1
82	環境問題、世界的な食料や水の不足問題、AIの進化やグローバル化に伴う貧富の格差問題への対応を踏まえ、北九州市は大都市としては自然の豊かさとともに第1次産業が保持されていることから、「食」を重点戦略に入れてはどうか。		1
83	「稼げるまち」の実現が都市構想の主幹となるはずなので、具体的な産業名や業種名を出した方がよい。深刻な高齢化と人口減が進む中で「誰もが活躍できるまち」という表現には現実味が感じられない。「彩りあるまち」はスポーツやエンタメ、イベント誘致の実績と展望について書いてほしい。門司港など観光や駅前再開発にも力を入れていることを書いた方がよい。	新たなビジョンは今後のまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等については、分野別計画や毎年度の予算等で提示してまいります。また、少子高齢化や人口減少が進む中、持続可能なまちづくりを進めるためには、「誰もが活躍できること」が重要であると考えています。	4
84	基本構想第2章2-(2)に「豊かな自然と歴史を生かした観光資源の磨き上げ」とあるが自然の利活用は「保全」があって成り立つもの。行政として「豊かな自然の保全と利活用」という姿勢を明示して欲しい。	ご意見のとおり、自然の利活用は保全が前提としてあり、「生かす」には「保全」も含むという趣旨でしたが、ご意見を踏まえ、基本計画第3章1-(1)に「自然環境の保全」についての記述を追加します。	2
85	自然に関しては、曾根干潟など、人の手を加えず保全すべき箇所がいくつもあるため、「保全」という文言を入れてほしい。		2
86	基本構想第2章2-(3)の3行目に、「教育」も明記した方がよい。活力あるまちづくりは人材育成なくしては行えない。家庭環境や経済力に関わらず、全ての子どもの権利である義務教育に関してはしっかり予算も人手もかけて手厚く行って頂きたい。	教育に関しては、基本構想第2章2-(2)、基本計画第3章3に趣旨に沿った記述をしています。	1

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
87	基本構想第2章2-(3)の8行目について、市内でも部落差別に関わる差別事件・事象が続発していることなどを踏まえ、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」に合わせて、「子どもから高齢者まで、障害の有無、性別、社会的身分、門地、国籍に関わらず」と「社会的身分、門地」を加えて変更してほしい。	ご意見のとおりの記事ではありませんが、同和問題も重要と考えており、基本構想第2章2-(3)に人権課題全般を包含するものとして「など」の記事を追加いたします。	2
基本計画 第1章 計画の策定にあたって			
88	計画の推進体制について、これまでと同様な内容。これまで実行できてない所に問題があったのではないかと。例えば、市民がまちづくりの主体というが、結論ありきの政策が目立ち、市民の意見を聞いていたとは思えない。	基本計画第1章4で示した計画の推進体制は、北九州市自治基本条例における各主体の役割を踏まえたものです。そのため、基本的な考え方は共通するものと考えています。目指す都市像を市民の皆様と共有し、市が一丸となって進んでいくため、ご意見も踏まえながら、今後の取組を進めてまいります。	3
89	「各主体における役割のイメージ」に、基本構想6ページにある「能力開花」等の3つの視点が直結していないように感じる。従来との違いを強調している割に、ここは今までと同じような書きぶり、あれだけ煽っておいて、ありきたりな書きぶりで拍子抜けする。市民としての「覚悟」はこれでいいのか。		4
90	草の根的なNPO活動が弱い北九州市だからこそ、企業や市民の自助から共助に向けた活動を促進することで、社会課題の解決を目指してもらいたい。例えば、共助社会を形成するため、自治体と企業・市民の接点となる組織を作り、FDC(福岡地域戦略推進協議会)のようなシンクタンク機能と実際の活動機能を持つ官民連携組織を構築してはどうか。	ご意見については、関係部局に伝え、今後の参考とさせていただきます。	3
91	北九州市の負債は令和3年度末で1兆3,050億円。その後も1兆円前後ある。借金返済のロードマップはあるのか。借金は無い方が良く決まっていると思うが「適正な借金額」という考え方は有るのか。	北九州市の市債残高は、令和3年度決算時点で約1兆1,883億円であり、直近の決算である令和4年度決算時点では約1兆1,893億円となっています。基本的に借入後30年間で計画的に償還(返済)しています。市債を発行する意義として、毎年度の財政負担を平準化することや世代間の負担の公平を図ることなどが一方、公債費(償還)は後年度の予算編成の圧迫要因となるため、過度な市債発行は慎む必要があります。この観点から、令和4年度から投資的経費の適正水準として620億円を上限に予算の調整を行っているところです。また、市債残高の総額については、適正な額は設定しておりませんが、市政変革の推進の中で、市債の発行抑制に取り組んでまいります。	4
基本計画 第2章「稼げるまち」の実現			
92	タウンミーティングの市長の話にあった、稼げるまちを進めるための3つのステップが非常に分かりやすく共感ができた。ぜひ、盛り込んでもらいたい。	ご意見を踏まえ、基本計画第2章に「稼げるまち」の実現について、より詳しい説明を追加します。	2
93	どうやって「稼げるまち」を実現しようとしているのか教えてください。		2
94	「稼げるまち」に期待している。環境に強みのある北九州市でのGXの推進、主夫・主婦や高齢者などの活用できる労働力の発掘など、今後益々良い市になるように頑張ってください。	ご意見のとおり、基本計画に掲げた取組を推進し、「稼げるまち」を実現してまいります。	1
95	土地について、北九州市にはかなりの余力がある。実現の可能性はかなり高いのでは。		1
96	北九州市は未活用地の多さ、自然エネルギーの利用状況、環境対策へのノウハウは全国的にも優れていると考えられる。ベンチャーの誘致等、他地域でも行われている内容ではなく持っている強みを活かした方が市外の企業等の注目度も高まるのではないかと。	ご意見のとおり、北九州市固有の強みやポテンシャルを最大限に発揮し、「稼げるまち」を実現してまいります。	1
97	「若者に魅力ある企業の誘致」という文言に、大いに共感する。若者との対話を継続的に行なってほしい。企業誘致に向けたヒントが見つかるかもしれない。	ご意見のとおり、新たなビジョン策定後も様々な機会を捉えて、若い世代の方々と意見交換の場を設けていきたいと考えています。	1

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
98	市内に仕事場がない。工場誘致や農産物の改革、魚の陸上養殖、北九州空港の活用等を考え、早期に働く場所をつくる必要がある。	ご意見のとおり、「稼げるまち」を実現し、雇用の創出を図ります。具体的な取組等へのご意見については関係部局に伝え、今後の施策や事業の参考とさせていただきます。	1
99	既存の医療施設・団体では、働き手を探すことも困難になりつつあり、これは実質的な賃金の低さに起因すると考えられる。医療従事者に適切な賃金が支払われるようサポートすることはできないか。	「稼げるまち」の実現に向け、生産性向上などを図り、企業収益や働いている従業員の方々の報酬の向上につなげてまいります。また、基本計画第6章に成果指標として、市民雇用者一人当たりの市民雇用者報酬の記述を追加します。	2
100	留学生を含めた高度外国人材の就職地選択、訪日観光客の訪問先選択行動を踏まえた観光推進戦略の観点が弱いので、追加してはどうか。	新たなビジョンは今後のまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等については、分野別計画や毎年度の予算等で提示してまいります。ご意見については、関係部局に伝え、今後の参考とさせていただきます。	3
基本計画 第2章1 稼げる「基盤」をつくる			
基本計画 第2章1-(1) 陸・海・空のネットワークの構築			
101	基本計画第2章1-(1)の冒頭において、背景となる北九州市の強みを説明するために、「北九州市の地理的優位性及び各種輸送モードに対応できる物流基盤を生かして、(人流、物流の)陸・海・空ネットワークを構築します。」を入れてはどうか。	北九州市の地理的優位性及び各種輸送モードに対応可能な物流基盤については、基本計画2章3-(4)に趣旨に沿った記述をしています。	1
102	北九州市の市民一人当たりの市債残高が政令市で最も多いのは、採算のとれない大型公共事業の実施に伴うもの。税金の使い方についてシビアな総括が必要。にも関わらず、「下関北九州道路」の事業を推進しようとしていることは、説明がつかない。中止・見直しが必要。	下関北九州道路は北九州市と下関の都心部を結び、循環型ネットワークの形成により、暮らし、産業、物流など地域の一体的発展に寄与するとともに、災害時における経路の多重化を確保するうえでも必要な道路であると考えています。	4
103	北九州空港はアジアのハブ空港を目指し、滑走路を少なくとも5,000mに拡張すべき。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
104	北九州空港の活用について 飛行機搭乗旅行者だけでなく、そこに行きたくなる「空港(島)」へという視点も必要ではないか。例えば、公園、ドッグラン、釣り、牡蠣小屋、ランニング、ヨガ、キッチンカー、カフェ、ショッピングモールなど。		3
105	空港の名称を「九州国際空港」としてはどうか。また、空港のハード・ソフト両面でのサービス拡充や路線拡大をお願いしたい。		3
106	北九州空港へ鉄道でもアクセス可能になればさらに利用しやすくなる。旅客路線ネットワークの拡大も賛成。福北連携の一環としてLCCや近距離便を北九州空港発着に変更し、福岡空港の過密回避対策としてはどうか。		3
107	新幹線を小倉駅から地下トンネルで北九州空港へ乗り入れ、地上出口は行橋駅界限とし、大分駅まで延伸する。		3
108	モノレールを空港まで延伸すること。		3
109	北九州空港と小倉駅周辺のアクセス向上が重要。エアモビリティなど、陸路以外も考えるべき。また小倉港と小倉駅のアクセス性を高めるとともに、小倉港の観光船乗入れなど、交通結節点として小倉駅周辺の強化が必要。		3

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

【意見の反映状況】
 1:既に掲載済
 2:追加・修正あり
 3:今後の参考とするもの
 4:追加・修正なし
 5:その他

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
 市民意見の概要および市の考え方

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
110	北九州空港は、アクセス向上や観光資源としての利用が必要。朽網駅と苅田駅の間に特急列車が停車できる新駅を設置して、空港までシャトルバスを走らせる。新門司地区から高速船やホバークラフト、更には、ロープウェイを通して空から海上を眺めるのも、観光の目玉として面白い。利用客、物流が多くなれば、第2の橋を架け、高速道路との接続道路の整備も必要。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
111	物流拠点として、物流関係者が休憩、休養が出来るような施設があると口コミで北九州のおもてなしの心が広がる。別府や湯布院から温泉湯を運び入れ、疲れを癒せる安らぎの空間があってもよいのではないか。北九州空港内にも。		3
112	響灘と周防灘を結ぶトンネルを建設して、鉄道・自動車・海水を通してはどうか。発生土は、北九州空港の拡張用地の埋立土砂として活用。用地は航空・港湾関連施設、鉄道基地、物流基地、自衛隊基地等に売却。日本海と瀬戸内海の海水で潮流発電が永続的に可能。駐屯地や近隣の自衛隊基地の跡地開発も可能となり、非常時の市街地被災リスクも低減。		3
113	下関北九州道路により北九州が通過される都市にならないように、そのアウトカムがしっかり見える案の作成を。同時に北九州空港は陸路が南区からのアクセスしかない。新門司側に海中トンネル等のアクセス確保も必要ではないか。		3
114	戸畑、八幡間の鉾澤線の二階建での活用。上段に都市高速道を設ける。物流の迅速化。未来の下北道路、界隈繁栄に繋ぐ。		3
115	小倉北区西港と藍島を結ぶ橋の建設。		3
基本計画 第2章1-(2) メガリージョンの推進			
116	福岡市との連携を視野に入れた施策も必要。産業構造や人口構成、観光資源の数が異なることから、北九州市の強みをより生かし、「福岡県」としての向上を図る取り組みが重要。	基本計画第2章1-(2)のとおり、福岡市を含む周辺市町との広域的な連携に取り組んでまいります。	1
基本計画 第2章1-(3) 新たな産業用地などの創出			
117	半導体等の未来産業の振興を掲げているが、先日北九州市はPSMCの誘致に失敗したばかり。失敗の原因を分析し、対策しているのか。	企業誘致に向けては、受け皿となる産業用地が必要と考えており、基本計画第2章1-(3)のとおり、新たな産業用地などの創出に取り組んでまいります。	1
118	「新たな産業用地などの創出」があがっているが、小倉南区の曾根干潟は「曾根干潟・保全利用計画」をもとに全面保全し、「世界の曾根干潟」として利活用することを強く求める。	新たな産業用地などの創出にあたっては、自然環境への影響なども考慮してまいります。また、曾根干潟は、多種多様な生物が生息し、希少動物の宝庫です。また、古くから漁業が営まれるなど、人々の生活の場としても重要な干潟であることから、大切に保全してまいります。	3
119	曾根干潟の移転と跡地開発。干潟は人工的に他で再生可能。土地、人、物、財が揃えば、国内有数なIT、デジタル商業工業、学園、住宅、公共施設などを集中して建設が可能。		4
120	絶滅危惧種であるカブトガニの生息地、曾根干潟を守り続けてほしい。		3
121	土地利用規制の見直しはアウトプットではなくアウトカムの視点での対応を。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
基本計画 第2章2 稼げる「人」を育む			
基本計画 第2章2-(1) スタートアップの創出・成長			
122	「学生期」という表現が曖昧(高校生か、専門学校生か、大学生か、など)。例えば学生期(高校生)などと記載してはどうか。学生期からのアントレプレナーシップ教育や「文理問わずすべての学生の基礎的なデジタルスキルの取得・向上」など、教育内容も高校生、専門学校生、大学生の間で変える必要がある。	学生期については、小学生以降の学生を想定しており、ご意見を踏まえ、記述を修正します。教育内容などの具体的な取組等については、分野別計画等で提示してまいります。	2
基本計画 第2章2-(2) 若者のチャレンジへの支援			
123	年齢や性別にとらわれずに大人も学び、学生も社会参加することは重要。「センス・オブ・プレイス」が養われる利点もある。先進的な成功モデルをつくってほしい。地元企業のリスキリングに市内の大学が協力、市のイベントの企画に地域の学生に参加してもらおうといった方策が考えられる。	基本計画第2章2-(2)、(4)の記述のとおり、若者がまちづくりや社会課題解決に主体的に関わる機会の創出、年齢等に関わらない学び直しに取り組んでまいります。具体的な取組等についてのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます	1
基本計画 第2章2-(3) 性別に関わらないキャリア形成の支援			
124	「性別に関わらないキャリア形成の支援」について、子育てや家事との両立がメインに見える。生産性向上が前提にはなるが人を大切にすホワイト企業を増やしていくことが大事。市民一人ひとりに合った働き方を選べるように、事業者へのサポートや意識改革が必要。	基本計画第2章2-(3)、(4)のとおり、働き方改革の推進や企業の健康経営の理解促進、就業環境の整備に取り組んでまいります。	1
125	「仕事の継続や復職の意欲向上に向けた取組み、働き方改革などを推進」とあるが、どのような取り組みか、一文あるとイメージしやすい。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等については、分野別計画や毎年度の予算等で提示してまいります。	4
126	子供託児所の拡充(補助制)・企業への導入補助拡充(女性の働き方確保)。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
基本計画 第2章2-(4) 多様な人材が働くことができる環境の整備			
127	稼げるまちには、高齢者をどう組み込むか、どう貢献してもらうかの視点が必要。	基本計画第2章2-(4)のとおり、年齢に関わらず多様な人材が働くことができる環境の整備に取り組んでまいります。	1
128	孫や子どもの将来のために、夢のある仕事ができる環境を整えてほしいと思う反面、65歳を超える私でも、まだまだ働き手として少しは社会の役に立てると思う。		1
129	高齢者の就労についても考えてほしい。北九州市は若者が流出し高齢者が取り残されている状況。高齢者(特に80歳前)の就労を進めた方がいいのではないか。		1
130	高齢者がもっと働きやすいような施設を実現してほしい。		1
131	若者、女性の活躍推進は結構だが、高齢者の活躍にも目を向けてほしい。		1
132	高齢化率が高い本市においては、看護、介護スタッフとして、外国人労働者などを積極的に受け入れるべきではないか。		1
133	外国人材の活躍・定着のためには、彼らの日常生活を支援することが必要。「市民による外国人・留学生支援のホスト的ボランティアクラブを組織し日常的支援を提供することで、さらなる活躍や定着につながる」などを追加してはどうか。	基本計画第2章2-(4)のとおり、外国人材の活躍や定着につながる支援に取り組んでまいります。具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
134	ものづくり、技術継承者(働きたくなる人)がいる街に向け、学生がこの街に残る具体策が必要。働きたい人(特技等)と求人者が面談できる掲示板など。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであるため、具体的な取組等については、分野別計画等で提示してまいります。また、ご意見については関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
135	医療の進歩により小児難病者が成人期に達している。企業の健康経営のためにも治療と仕事ができる仕組み作りや啓発をしてほしい。また、だれもが働けるようにとは、具体的にはどうするのか。加えて、区役所の窓口延長日を土曜日に変更してもらえると働きやすくなり稼げる人への育成にもなるのではないか。		3
136	基本計画第2章2-(4)及び3-(5)について、市立大等に専科・選科等を設置し新技術及びサイエンス領域の教育を行うことも検討できるのではないか。	理工系教育については、基本計画第3章3-(1)に記述しています。具体的な取組等へのご意見は関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	1
137	労働力不足は外国人労働者には頼らず、ロボット技術やAIによって克服するモデル地区となしてほしい。グローバル化では無く、市独自の魅力アップを図ることが未来に繋がると考える。ローカライズへ向かう事が北九州市を際立たせる唯一の政策ではないか。	グローバル化や世界的な技術革新が進む中、都市においてもこれまで以上に世界各地の動きへの迅速な対応や、多様な文化や価値観への理解や対応が必要となっています。また、少子高齢化や人口減少が進む中において、地域の担い手として、女性や高齢者とともに、外国人材を受け入れ、こうした方々が活躍できるような環境を整備することは重要であると考えています。	4
基本計画 第2章3 稼げる「産業」をつくる			
基本計画 第2章3-(1) 「バックアップ首都構想」の推進			
138	「バックアップ首都構想」は稼げるまちの実現に向け重要な政策と考える。	基本計画第2章3-(1)のとおり、北九州市の強みを生かし、「バックアップ首都構想」を推進してまいります。また、基本計画第2章1-(2)のとおり、福岡市を含む周辺市町との連携を推進してまいります。	1
139	今こそこの地震の少ない、自然災害にも強い北九州市を大いにPRして欲しい。とにかく企業誘致を。そして福北連携をより密度の濃いものに。		1
140	基本計画第2章3-(1)にある「物流インフラ」を「陸・海・空のネットワークの構築」とした上で、インフラの重要性を強調する形で文章の順序を入れ替えてはどうか。	インフラの重要性は認識しており、稼げる「基盤」ということで、基本計画第2章1-(1)で記述しています。	1
基本計画 第2章3-(2) 成長の芽となる「未来産業」の振興			
141	未来産業として、ITやエンターテインメントなどの分野を追加してはどうか。また、未来産業の振興が物流インフラの構築によって大きな支援を受けることを記述してはどうか。	ITやエンターテインメントについては、基本計画第2章3-(1)に記述しています。また、物流インフラの構築は産業全体を支えるものであることから、基本計画第2章1-(1)に記述しています。	1
142	半導体製造工場を誘致してほしい。PSMCの誘致に失敗したとニュースで聞いたが、今度は成功させてほしい。	基本計画第2章3-(2)のとおり、半導体などの未来産業の集積に取り組んでまいります。	1
143	半導体業界へ、スキルを身に着けた技術者育成。	人材育成については、基本計画第2章2、第3章3で記述しています。	1
基本計画 第2章3-(3) 「(仮称)北九州グリーンインパクト」の推進			
144	成長分野への原資を稼ぐ戦略として、域外への資金流出を抑えるため、洋上風力発電や住宅への太陽光発電などの推進による「エネルギーの地産地消の推進」を追加してはどうか。	再生可能エネルギー等の地元企業への提供については、基本計画第2章3-(3)に記述しています。	1
145	基本計画第2章3-(3)について、北九州市の強みを強調するために、冒頭に「北九州は、風力発電機部品製造や修理が出来る頑強な港湾施設と背景に高度の技術水準を持つ企業群を抱えている。この利点を生かして、」を挿入してはどうか。	基本計画では今後取り組むべき政策の方向性を記述しており、それぞれの分野における北九州市の具体的な強みについては、分野別計画等での記述を検討してまいります。	4

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
146	グリーン産業の更なる発展には、情報通信技術の活用も重要。基本計画第2章3-(3)のについて、後段は「社会課題に対応した新たなリサイクル事業の創出、5G・AI・IoT技術の活用による省エネ・環境改善などの推進により、グリーン産業の更なる発展を図る」としてはどうか。	デジタル技術の活用による生産性向上については、基本計画第2章3-(5)に趣旨に沿った記述をしています。	1
147	グリーンインパクトで取り組む内容として、森林・林業も盛り込んでほしい。	農林水産業については、基本計画第2章3-(5)に記述しています。	1
148	エコタウンの資産を次世代のサーキュラー産業の創出に向けたことは、カーボンニュートラルや資源循環を実現するためにはとても良いこと。北九州循環経済研究会の報告書「明日の北九州の環境産業ビジョンを描く」を土台として活用されることをお勧めしたい。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
149	小倉駅、北九州空港のごみ箱を、分別(プラ、ペットボトル、ビンカン、紙等)のごみ箱にした方が良い。そういった所から環境未来都市の意気込みを見せてほしい。また、雑紙BOXの知名度向上と配布を広めてほしい。また、プラスチックごみBOXも作って配布してほしい。		3
150	市民の環境意識向上にむけ、清掃員の職業プライドを高め、昔の「ゴミ清掃員」という意識でなく、リサイクル中心の「資源化(リサイクル)スタッフ」くらいの名称変更、イメージチェンジを市が旗振り役ですること、環境未来都市北九州が輝いてくると思う。		3
151	プラごみ袋の中を作ってほしい。また、給食の残食を堆肥作りなどに回すシステムを作ってほしい。急な学級閉鎖の際、子ども食堂に回すなどして食品ロスを無くしてほしい。燃えるゴミを削減する事で、経済効果がある事を示してほしい。		3
152	風力発電について、洋上となると技術的な課題・雇用・経済ばかりではなく、露・北鮮・中と安全保障の課題からして丸裸の課題も考慮すべきでは。また北九州空港アクセス2方向の検討と新門司開発及び空港内に内航船(ライナー)のポートも必要になるのでは。		3
153	全国の河川で堤防の決壊や越水により家屋の床上浸水などの広範囲の水害が起きている。堤防補強の際に必要な工材を(ポリ系、プラ系)資源ゴミで作ってはどうか。		3
154	紫川下流域で海に流れ出る「ポリ系」「プラ系」「ビニール系」を定期的に資源ゴミとして回収。資源ゴミとして再利用用途が望まれ、河川改修、堤防補強時に工材製造の原料として活用が期待できる資源ゴミである。		3
基本計画 第2章3-(4) 物流拠点構想の推進			
155	24時間稼働可能な空港、大規模なコンテナターミナルを有する立地を生かし、物流施設の誘致を進めるべき。補助金制度等も拡充することで集積が図れるのではないかと。	基本計画第2章3-(4)のとおり、北九州市の充実した物流基盤を生かした物流拠点の形成に取り組んでまいります。具体的な取組等へのご意見については、関係局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	1
156	ボーイング社などの飛行機会社の部品工場を誘致できないか。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであるため、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
基本計画 第2章3-(5) 生産性向上・高付加価値の推進			
157	基本計画第3章3-(5)の冒頭にITやロボットの分野において市内企業に実績と強みがあることを示した方が良い。	各分野における北九州市の具体的な強みや取組については、分野別計画等での記述を検討してまいります。	4
158	「成長分野」とあるが、例えば「半導体、未来自動車などの未来成長産業」など少し具体的な分野を加筆したほうが分かりやすい。		4
159	農業漁業は、新しい発想・新しい経営・新しい事業になるように取り組んでほしい。第一次産業をもっと強くしてほしい。事業拡大や他都市の優れたものを取り入れてほしい。	基本計画第2章3-(5)のとおり、農林水産業における取組を進めてまいります。具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	1
160	下関市や周辺市町村を含めた、一次産業の六次産業化構想を打ち出してはどうか。		3
161	気候変動に翻弄される昨今、新たな産業として自然変化に左右されない食糧生産工場を稼げる柱に置いてはどうか。北九州市が有数の食糧基地になれば自ずと人も集まる。		3
162	イベントで活用する小物製品や市庁舎等における備品への地元産材を使った「KITAQ WOOD」製品の活用を通じて、目に見える形での情報発信をお願いしたい。また、担い手対策、生産基盤整備の促進、生産能力の向上、木材出荷奨励金の交付、生産意欲の拡大など、北九州市産木材の生産活動への支援をお願いしたい。		3
163	北九州市ではすでに取り組まれているが、住宅・建築物の高断熱・高气密化による省エネの推進を「稼げるまちの実現」に、健康寿命延伸への寄与も期待される「北九州市健康省エネ住宅の普及」を「安らぐまちの実現」に追加してはどうか。		3
164	若松ひびき、小倉南区母原界隈の開発。科学、水耕、温室による大農産物工場設置、産原料による養魚用、家畜用飼料生産。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
165	介護職員の初任者研修や実務者研修をオンラインで行っているが、遠い他県の方が多い。理由として他県の講習会に比べて費用が安いことなどが考えられる。こうしたオンライン講習を北九州へ人材を集める方法としても活用できるのではないかな。		3
166	人と人がもっと繋がり、組織と組織が会話をして、実行可能なコラボレーションがたくさんできれば新たなビジネス、事業が生まれてくるのではないかな。人と人がつながり力を発揮するならそれを仕組み化すれば良い。		3
167	規制と緩和のバランスも含めた市政改革を行わなければ今以上に国民の負担は増えるばかり。特に令和4年4月1日からの労働規制は、新たなビジョンを実現させるためには足かせになると思う。副業を認めるなど当初の趣旨を履き違えているような話もあるが、目標設定には特に留意いただきたい。		3
基本計画 第2章3-(6) アジアの社会課題解決への貢献と国際ビジネスの推進			
168	環黄海や日韓海峡圏における自治体間交流の実績を踏まえ、「国際技術協力を通じて」を「国際技術協力やアジア諸都市との政策交流を通じて」としてはどうか。	ご意見を踏まえ、基本計画第2章3-(6)に記述を追加します。	2

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
169	アジア地域への技術移転が「稼げる」産業づくりにつながる道筋が不透明。タイトルを「アジアとの連携を通じた社会課題解決への貢献と国際ビジネスの推進」とし、「また、先進的な介護システム～」の部分で「医療・介護、交通、教育、DX、GX、防災・治安等の諸分野で、地元・国内およびアジアの企業やスタートアップとの連携による社会課題解決策の実証と実用化を支援します。」としてはどうか。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであるため、具体的な取組等については、分野別計画等で提示してまいります。ご意見については、関係部局に伝え、今後の参考とさせていただきます。	3
基本計画 第3章「彩りあるまち」の実現			
170	福岡市のようなまちを目指す、現在の市民性に合わなくなるが、北九州市に寄りすぎると市外の人魅力を感じにくくなる。北九州ならではの独自性も大切だが、彩りあるまちについて、もっとわかりやすく明確なビジョンを聞きたい。	具体的な取組等については、分野別計画や毎年度の予算等で提示してまいります。北九州市の個性、強みを生かした取組を進めてまいります。	3
171	以前は北九州の各地に賑わいがあったが今は一部だけ。また一部だけがより住みやすい環境、まちになり、同じ税金を払っているのになと思う。北九州全体、それぞれが魅力的な場所にならないとますます人口流出に繋がると思う。	基本計画第3章のとおり、多様なライフスタイルへのニーズ等に応えるまちを目指し、地域の特色を生かした魅力あるまちづくりを市全体で進めてまいります。	1
172	「多様で質の高い教育環境の充実…」の前に、「すべての子どもたちが基礎学力を十分に身に着けることを保障する」「学級規模の改善」などの文言を入れること。	ご意見の「すべての子どもたちが～」については、基本計画第3章3-(3)に趣旨に沿った記述をしています。また、具体的な取組等へのご意見は関係部局へ伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	1
基本計画 第3章1 彩りある「空間」をつくる			
173	中心市街地整備についての項目を追加してはどうか。「(4)魅力ある都市市街地整備」として、「陸・海・空のネットワークの構築は、通信、メディア、金融、デザイン、商業、宿泊などのサービス産業を北九州市に引きつけます。これらの産業が、十分な機能を発揮出来るように都市市街地を整備し、そのために必要な区画整理や規制改革を行います。」としてはどうか。	基本計画第3章1の対象には中心市街地が含まれており、土地利用規制の見直し等についても記述しています。	1
基本計画 第3章1-(1) 都市の魅力を高める「まちなみ」づくり			
174	若い女性が働こうという魅力ある都市に北九州市がなっていないことが一番問題。都心に目立った商業施設がない。雑貨、ファッション、飲食等、働ける場所、選択肢がない。本市の街は灰色のイメージ。せめて歩道などは、レンガ色やオレンジ色にして、インスタ映えするような街になってもらいたい。	基本計画第3章1-(1)のとおり、商業の振興や歩きたくなる「ウォーカブル」なまちづくりを推進してまいります。具体的な取組等へのご意見は関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	1
175	都市の魅力高める「まちなみ」づくりは、若者に向けていると受け取れる。シニア世代も大事にいただき、この街で楽しみながら豊かな時間を過ごせるようなことも入れてほしい。		2
176	北九州市にいろんな魅力のあるお店や観光できる場所ができるのであれば、高齢者もそこで楽しみながら消費者として地域の経済にも貢献したい。高齢化が進んでいる北九州市だからこそ、元気な高齢者は多いと思う。	ご意見を踏まえ、基本計画第3章1-(1)にシニア世代に関する記述を追加します。	2
177	若者が魅力を感じるまちづくりも大切だが、政令市一高齢化率が高い北九州市こそ、元気な高齢者が働き、年金と仕事の収入で、趣味や買い物などを楽しめる、落ち着いた雰囲気のみちづくりも進めてもらいたい。		2
178	小倉駅をウォーカブルにして、活気あるまちにしてほしい。	基本計画第3章1-(1)のとおり、小倉地区などでウォーカブルなまちづくりに取り組んでまいります。	1

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
179	ウォーカブルなまちづくりについて、小倉地区だけにとどまらず、他の地区にも広げてほしい。特に八幡東区は水辺がほぼない。水辺は安らぎを与えてくれる。東田や八幡駅前など、他の地域にも広げてほしい。	ウォーカブルなまちづくりについては、小倉地区をはじめとして順次取り組んでまいります。具体的な取組等へのご意見は関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
180	ウォーカブル・シティを目指すことは素晴らしいと思うが、「Walkable」の本来の意味が十分理解されにくいおそれもあると感じる。基本計画に詳しく書くことは難しいだろうが「ウォーカブル・シティ」の考え方や具体的に市民にできることなどについて説明の機会があるとよいと思う。	ご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
181	大学連携組織を立ち上げ、市内大学生を対象に季節ごとに出会い・交流の場となるイベント開催。行政、企業が支援。		3
182	戸畑区の天神商店街を活気ある商店街にして欲しい。若い出店希望者を募り、商売のチャンスを提供するなどして、若者が集まる商店街づくりなどが出来るとよい。		3
183	小倉で映画上映と合わせた昭和な街並のウォーキングツアーなどあったら面白そう。今ある風景や古い街並みが素晴らしいので、新しいビルで景観が損なわれないように古いものを生かしたまちづくりを希望する。		3
184	巨過市場とその周辺の昭和の街並みは唯一無二の存在。PRが不足している。この街並みは10代20代にも新鮮に映るはず。		3
185	道路の除草は常にやっていかないと「彩りあるまち」には絶対にならない。		3
186	なぜ電線の地中化を進めないのか。高見地区から中央町付近までの地中化は実現したが、そこから先が進まない。せめて3号線は地中化していくべき。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
187	もっと町中各所に駐輪場を設置して欲しい。巨過通りなどにしかない。駅は何分止めても150円、そして2時間返は無料にしてほしい。		3
188	高齢化等で公園愛護会の解散が進むなか約1,700個所の公園をどうするのか。すべての公園で、幼児から高齢者まで、いつでも遊び、語らい、くつげる公園づくりを提案したい。		3
189	小倉駅前(祇園太鼓付近)でのペット等の販売は不潔に感じる。他の場所に移動させられないか。小倉駅前のイメージダウンになる。		3
190	小さな森の空間をウォーカブルのコース上に点在させる。黒崎や小倉等の再開発予定地には可能な限り木造高層建築1~2棟建て、その敷地内にも小さな森の空間を。可能な限り歩道の幅員を広くとり街路樹も常緑樹で。		3
191	紫川で水泳を楽しむこと。時には競技大会を。常時カヌー、ボートが漕げるように。河川敷を散策のpromenadeに。(一部に常夜灯など。)		3
192	未利用木材を使用した木製ベンチによるまち中ベンチプロジェクトを黒崎商店街で実施してはどうか。		3

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
193	今後のまちづくりには「際」と「再生」という視点が必要。特にまち際の山際や水際には、災害のリスクや空き家・耕作放棄地・低未利用地等の課題を抱えている場所が多いため、自然再生とまちなか再生をリンクさせる税制優遇を取り入れ、これらのリスクや課題解決を図りながら。安全で彩りあるまちづくりに取り組んで欲しい。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
194	市庁舎、議会棟の移転と、跡地の公園化。		3
195	AIM全館を一体化して、老若男女が集う施設の統合化、幼稚園、おもちゃの病院、語らい・出会いの場所とする。		3
基本計画 第3章1—(2) 選ばれる「住まい環境」づくり			
196	北九州市にある鉄道各社が連携、統合することでもっと利用しやすくできる。具体案として年間サブスク会員制度の導入を提案する。環境都市として、継続可能な公共交通体系を創るモデルとなるよう、自動車利用から鉄道、駅を中心としたまちづくりを行ってほしい。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
197	「あらゆる世代が気軽に移動できる街」を目指して、折尾駅からグリーンパークまでのLRTや洞海湾横断鉄道、自動運転機能を搭載したEVバスの導入などを検討してほしい。		3
198	福岡市のベットタウンとして、市内どこからでも1時間以内で福岡市まで行けるよう、アクセスの向上を図る。(新快速の新設、パークアンドライド、バスアンドライドの促進。)		3
199	企救半島1周モノレール設置考想(構想)。住宅地開発で人口増加。風光明媚な宅地開発で魅力都市へ。産業人材定住地人材供給都市づくりへ。		3
200	福岡市のベッドタウンとして、生き残りをかける道を探るべき。そのために新幹線の木屋瀬駅設置を再度考えてよいのではないか。		3
201	新幹線と筑豊本線軌道が交わる場所界隈に新駅を設ける。		3
202	日田彦山線(市内駅)駅前の開発。市内駅の増設(人口増加化、若い世代定住化)。駅界隈の住宅高層化(マンション)(空地の公園化)。		3
203	北九州空港と小倉駅、門司駅、門司港、下関を結ぶサークルレーンモノレールの建設。		3
204	3次元レーザースキャナーを使用した点群データとGISを組み合わせて、例えば、交通フローの分析や効率的な駐車場配置により、交通渋滞の緩和や公共交通機関の利便性向上が期待できる。		3
205	今ある場所や建物などを再利用して欲しい。例えば、空き家や商店街の空きテナントなど身近な所から活気が戻るなら新しい事をしてくれている実感も湧きやすい。		3
基本計画 第3章1—(3) デジタルによる「快適・便利・迅速な環境」づくり			
206	デジタルによる「快適・便利・迅速な環境」について、産学官で連携して進めることが出来ればよりよいと感じた。	産学官の連携に加え、市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、取組を進めてまいります。	1
207	高齢化する地域住民のために、区役所に行かずとも市民センターで、簡易な公的証書(住民票等)について申請及び交付できるようにする。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
基本計画 第3章1-(4) 人や企業を呼び込む「都市の魅力」の発信			
208	市の多彩な魅力・強みを戦略的に発信して都市イメージの向上を図り、シビックプライドの醸成と人や企業を呼び込むというのは、まさに北九州市が注力すべき所だと思う。なかでも「企業を呼び込む」とあるので例えば企業が北九州市に来たくなるような、行政側に求めている支援体制なども把握したうえで、市のポテンシャルと効果的に組み合わせるようなことができればよい。	ご意見を参考に、基本計画第3章1-(4)のとおり、北九州市の魅力発信に取り組んでまいります。	1
209	市の知名度を上げるため、北九州皿倉山、北九州高塔山などのように、どんなことにも「北九州」という冠を付けて欲しい。	長年親しんでいる名前に愛着を持つ方も多いことから、すべてに「北九州」という冠を付けるのではなく、市が持つ様々な魅力を戦略的に発信していくことで、国内外から企業や人を呼び込んでまいります。	4
210	本市の魅力を発信するために、民間放送局の支店等を誘致すべきではないかと思う。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
211	民放テレビ局を誘致してほしい。北九州市の情報があまり発信されていないように思う。		3
212	新幹線駅名のみでよいので新北九州駅にしてはどうか。全国に「北九州」名が広がる。		3
基本計画 第3章2 彩りある「時」をつくる			
基本計画 第3章2-(1) 文化芸術やスポーツの振興			
213	スポーツだけでなく、文化芸術についても「誰もが気軽に親しみ楽しめる環境づくり」は重要不可欠なので、追記してほしい。	ご意見を踏まえ、基本計画第3章2-(1)に記述を追加します。	2
214	基本計画第4章2-(1)について、「文化芸術が身近なまち」「子ども、障害者、高齢者、外国人、経済的弱者など関係なく、市民ひとりひとりが優れた文化芸術に触れることができるまち」というような内容を最初に明記していただきたい。		2
215	指導者不足問題、公園でのボール使用禁止を踏まえ、料金体系を整備した上で、どんなスポーツ団体でも小学校のグラウンドや体育館が利用できるようにして、子ども達のスポーツの場を確保してほしい。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
216	北九州市民球場にトラックマン、アイピッチ、ラプソードを設置し、利用者に喜んでもらい、スポーツで稼いではどうか。		3
217	北九州市長杯や北九州ベースボールフェスタ、野球競技大会を開催し、北九州市の野球レベルの向上とスポーツで稼いでは。		3
218	市の歴史や史跡を示す看板があれば古屋が文化遺産になり、地元の誇りを育ててくれる。郷土史会の協力を得て、看板を設置してはどうか。		3
219	北九州市は能楽堂がない。北九州市の一つのシンボル、ステータスとして北九州市の規模にあった能楽堂が欲しい。		3
基本計画 第3章2-(2) エンターテインメントによる賑わいづくり			
220	映画、東京ガールズコレクションはとてもうまくいっていると思う。駅裏に自由に音楽演奏できる公園をつくってはどうか。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
221	市内には若者や海外の人が行きたいと思える観光があまりない。アニメやゲームの聖地、世界的なeスポーツの祭典の定期開催、映画ロケ地のパッケージ化など、新しい観光資源の創出が必要。		3

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
222	休止中の小倉高炉に魅力的な「テーマパーク・遊園地」をスピード感を持ってつくること。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
223	小倉駅地区に大規模な「テーマパーク」が必要。小倉高炉または小倉駅近くに埋立地をつくって遊園地を建設。5年以内に。		3
基本計画 第3章2-(3) 観光資源の磨き上げや発信の推進			
224	コートヤード・バイ・マリオットのような大型のホテルを誘致してほしい。将来、リーガロイヤルホテル小倉の代わりとなるものがないか。仮に医療センターが移転すれば、その跡地が使えるのではないか。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
225	小倉の観光・宿泊客の増加に向け、本場の韓国のお店や若者が泊まりたくなる写真映えする安価なビジネスホテルをつくってはどうか。		3
226	デジタル技術を活用したバーチャル観光による情報発信や、旅行ブイロガーの育成の取組を追加してはどうか。		3
227	北九州市ならではの「食文化」の重要性を強調するため内容を具体的に示した方がよい。特に「角打ち」を継承する施策の必要性。観光資源として食文化を捉えるならば、それを継承するための施策が必要。具体には事業承継の制度やリノベーションの技術の活用や、市内の食文化に携わる団体等による魅力発信を下支えすることなどが考えられる。		3
228	皿倉山と小文字山にロープウェイ新設・延長。		3
229	特定の魅力に重点化した観光拠点の整備や企業誘致、インフラの改修により魅力が研ぎ澄まされ、他の観光地に負けない魅力にまで昇華させられるのではないか。例えば、自然を軸にしたコト消費として、河内貯水池でのジップラインやあじさいの湯の活用など。		3
230	神嶽川河口に飾りを施した高欄など、カメラ映りが良い太鼓橋を架け、観光地化する。太鼓橋界隈には記念品、お土産物、飲食、休憩所などの店舗を設ける。太鼓橋から船で菅原神社参り。		3
231	夜景が世界一美しいまちに向け、北緯基準(100m単位)で高層ビルの高さを決める。例えば皿倉山・小文字山からみて100mごと。		3
232	現在稼働している施設等(皿倉山、グリーンパーク、ギラヴァンツ)に資金投入し、充実、活性化させること。		3
233	周遊回遊の核となり既存施設との共存共栄の拠点となる「道の駅かんもん(仮称)」実行プロジェクトを記載してほしい。		3
234	昼夜の工場群、商店住宅街など、最高の眺望をもつ八幡西区の河頭山公園付近に都市高速道路のサービスエリアを設置し、周辺の史跡など巡る拠点としてほしい。		3
235	平尾台はアクセスが悪いので利用しづらい。	3	
基本計画 第3章3 彩りある「人」を育む			
236	教育機関の誘致に加え、市内の子どもたち全員が、質の高い教育を受けるチャンスがある、希望のあふれる街であってほしい。箱(学校)だけでなく、人(教育不足)の問題と感ずるので、ワークライフバランスがしっかりした教育現場と目玉授業(講師の招聘、北九州市に転入してでも子どもに受けさせたいと思うコンテンツなど)があると良い。	基本計画第3章3のとおり、多様で質の高い教育を受けられる環境づくりに取り組んでまいります。また、ご意見を踏まえ、基本計画第3章3-(3)に教師のウェルビーイング向上についての記述を追加します。	2
237	特色ある学校の創造に取り組んでほしい。算数や国語教育に力を入れる学校など。教育をもっともっと大事にして頂きたい。		1

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
238	「彩りある人」がどういうことを言っているのかわからない。「人を育む」の箇所をみると、「ウェルビーイングの実現に向け」となっており、将来の可能性というより福祉的な方向のように見える。また、「質の高い教育」といながらも、「誰一人取り残さない学び」というのも、質でいえばどちらかと言えば高くないように感じる。進む方向がよくわからない。もう少しわかりやすく、丁寧な説明があった方がよいのでは。	基本計画第3章3の「彩りある人」を育むでは、これからの時代に対応できる多様な人材を育てる教育環境づくりについて記述をしています。質の高い教育の実現に向けては、その土台としてまずは安心して学べることが重要であることから、「子どものウェルビーイング」や「誰一人と取り残さない学び」という記述をしています。	4
基本計画 第3章3-(1) グローバル人材や理工系人材の育成に向けた教育の推進			
239	選ばれる街になるためには、北九州市の教育レベルの底上げが必要。ますます国際化が進むので、せめて、さいたま市の英語教育「グローバルスタディ」のようなものを取り入れるべきではないか。	基本計画第3章3-(1)のとおり、グローバル人材等の育成に向けた教育を推進してまいります。具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	1
基本計画 第3章3-(2) 魅力ある新時代の教育機関の誘致			
240	国際大学の拡充・新設。	基本計画第3章3-(2)のとおり、魅力ある教育機関の誘致に取り組んでまいります。具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	1
241	若者に北九州市に来てもらうには大学が一番よい。黒崎駅横の井筒屋があったビルに大学の学部を誘致してはどうか。		1
基本計画 第3章3-(3) 将来の可能性を開く教育環境の充実			
242	特別支援学級の児童は何よりも変化を嫌う。しかし現状は毎年担任や学習支援員が変わり、児童や生徒と保護者との信頼関係のリセットが繰り返されている。また、通常級でも配慮の必要なお子さん方がいて、担任が一人で学習の指導まですることは至難の業である。そこで、学習支援員を複数年務めた人の中から、介護福祉士のような福祉系の資格を持つ人材を確保し、ある程度の権限を持たせ、児童・生徒のケアができる体制などを提案する。教員の負担軽減にもつながる。また、学習支援員として子供を養って生きていけるだけの収入を得られる新たな雇用方法を検討してほしい。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
243	ビジョントレーニング、発達支援コーチ、ブレインジム、MBLなど、発達に関わる勉強をし、保育や授業でとりいれれば、大人も子供達も変わることができる。受講料の援助や研修の支援など、保育士、教職員が苦勞することなく子供達と関わり、保育や授業が進められるよう支援をしてほしい。		3
244	教育および学校改革として、教師の残業等の手当・代休の付与、教師の負担分散などの労働環境改善、保険・投資・詐欺・犯罪・健康等の「生活」にまつわる授業の実施、給食の完食指導の禁止・牛乳とお茶の選択制、食育・栄養指導の家庭実施、学校卒業後の市内居住者への奨学金返還支援制度などを提案する。		3
245	学校問題として、イジメ、非行、貧困格差、性問題、発達系の障がい、モンスターペアレントの対応等があり、今こそ勉強以外の社会性を育てる役目を担う教師が必要。そこで、保育士や介護・社会福祉士、認定心理士、看護師、介護職員初任者研修者等の専門的な知識で対応出来る福祉の資格を持つ教員を学校現場に配属してほしい。		3
246	小中一貫校を実現してほしい。まず、敷地が一体化している八幡小学校と中央中学校で実現してほしい。		3
247	学校の部活動について、様々なスポーツを体験し、能力と可能性を見極める機会を与える視点からマルチスポーツ部を設置すること。		3

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
248	幼稚園と保育園が「幼保一元化」というシステムを設け、新しい形で未来へ動き出している。小中学校も福祉と連携し、未来へと続く学校教育を作り上げて行くべき。学校現場では人手が不足している。「ほっと子育てふれあいセンター」のように、市や国が民間と連携し、新たな部署として「(仮)福祉学校教育センター」を設立し、適材適所な人員配置を行ってはどうか。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
249	北九州市の自然などを活かした水中ロボットコンテストやプログラミングコンテストの開催を希望する。ロボット都市北九州のPRをはじめ、学生達の技術目標や就職先の開拓、大学間の技術交流、MICEの誘致につながることを考える。		3
基本計画 第4章「安らぐまち」の実現			
250	「安らぐまち」の3つの主要政策すべてに「安心」が使われている。「安らぐまち」という重点戦略が「安心」という単語で包括されていることに大きな違和感がある。	主要政策の推進により、「安らぐまち」が実現するという戦略であり、「安らぐまち」の実現に向けては、市民の「安心」が基本になるものと考えています。	4
251	文化芸術により、こころとからだをやすらげるまちづくりに努めることを基本計画第4章冒頭に追加してほしい。また、基本構想第2章2-(3)にも「文化芸術」を追加してほしい。基本計画第3章2-(1)にもあるが、「彩り」とは趣旨、性格を大きく異にするので、第4章にも、「再掲」でも必須だと考える。	基本計画で提示した政策においては、「稼ぐ」「彩り」「安らぐ」のいずれの戦略にも当てはまるものがあります。新たなビジョンでは、こうした政策をすべての戦略に記述し、総花的な計画とするのではなく、より方向性を明確にすることとしており、文化芸術については、基本計画第3章2-(1)で記述しています。	4
252	第4章全体に、少子高齢化、雇用、税収など、現在北九州市が抱えている市民生活に大きく影響する課題解決への意気込みがあれば、より安心感が持てるのではないか。	ご意見にある北九州市を取り巻く課題の解決への思いについては、基本構想に記述しています。	1
基本計画 第4章1 生活基盤の「安心」を支える			
253	北九州市は細部まで道路や上水道を整備している。今後、老朽化により膨大なインフラの補修が必要となる。本当の意味でのコンパクトなまちづくりをどう進めるのが課題。	基本計画第4章1-(1)、(3)のとおり、災害に強いコンパクトシティの形成や公共施設の集約再配置及び適正な維持管理に取り組んでまいります。	1
254	つくった物には最後まで責任を持つこと。道路で計画通りの量の車が通行しているか。施設を計画通りの人が利用しているか。必要性。		1
255	基本計画第4章1について、地球温暖化防止のため、北九州市のこれまでの温室効果ガス削減、再生可能エネルギーの普及促進の取り組みをいっそう加速させるという観点が必要であり、文言を入れるべき。	基本構想に記述しているとおり、気候変動問題については、北九州市を取り巻く大きな社会課題の一つと捉えています。また、再生可能エネルギーの普及促進については、基本計画第2章3-(3)に趣旨に沿った記述をしていますが、ご意見を踏まえ、北九州市が目指すゼロカーボンシティに関する記述を基本計画第3章に追加します。	2
基本計画 第4章1-(1) 災害などに強いまちづくりの推進			
256	災害の頻発化・激甚化や広域化等を考慮すると、都市機能の強靭性は重要。「稼げるまち」や「彩りあるまち」の実現や最も根源的な市民の安全・安心の確保の観点からも「災害などに強いまちづくりの推進」については、積極的かつ継続的に推進いただきたい。	基本計画第4章1-(1)のとおり、災害などに強いまちづくりを推進してまいります。	1
257	治安はもちろんだが、防災面が年々おびやかされている。気象に目を向けてほしい。		1

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
258	氾濫しそうな河川の水をポンプでダム等に転送し、そのダムがオーバーフローしそうなら、他のダムや田等に送水するなど、大雨前に事前の対策ができないか。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
259	地域に合った避難所開設判断基準が必要。利用者が少ないからと10分で避難できる中学校体育館から、40分かかる市民センターに避難所が変更になった。理解できない。門扉や施設錠の開閉を地域責任者も可能に出来ないだろうか。		3
260	台湾海峡・尖閣諸島・ロケットミサイル問題を日頃から自覚させ、危機感をもった市民にするための広報活動を。		3
基本計画 第4章1-(3) 社会環境やニーズに即した都市基盤・施設の維持			
261	公共施設や公務についても、人口減少に伴い適正化すれば、労力、資金にも余力が生まれてくると思うので、状況に応じ、集約・適正化を行わないながら、北九州市基本計画の実現を願う。	北九州市では、今後、多くの公共施設が一斉に更新の時期を迎えることから、施設保有量の縮減や長寿命化、ほかの用途への有効活用などにより、将来の財政負担を軽減し、真に必要な公共施設を安全に保有し続けることができる運営体制の確立が必要です。こうした公共施設マネジメントの考えに基づき、公共施設の集約等に取り組んでまいります。	1
262	旧態前の考えによる公共施設の集約配置の考え。財政難といいながら、集約を口実に既存施設の改修との比較検討もなくスクラップ&ビルドをくり返しているのではないか。		4
263	市内の上下水道のインフラは大丈夫なのか、老朽化がすすんでいるのでは。		1
264	空き家を更地にすると税金が高くなるため、古い建物も維持しようとなる。これを変えるよう市長から国に是非訴えていただきたい。		3
265	国道322号の小倉北区香春口の歩道橋の塗装が剥がれているので、早急に補修を。		3
266	公共施設や橋梁、道路などの点検や保守点検を効率的かつ高精度に行うために、3次元レーザースキャナーを使用した点群データの取得により、施設の状態把握や効果的なメンテナンス計画の策定が可能。	3	
基本計画 第4章2 暮らしの「安心」を支える			
基本計画 第4章2-(1) 多様性を認め合う文化のまちづくり			
267	北九州市はジェンダー平等に関する意識が低い。学校教育はもちろん、社会人へのリカレント教育や啓発事業を通じ、年齢や国籍を問わず、誰もが平和・人権教育にアクセスできるよう機会及び予算の拡充を求める。	ご意見を踏まえ、基本計画第4章2-(1)にジェンダー平等社会の構築についての記述を追加します。また、基本計画第4章2-(1)のとおり、平和・人権に関する教育や啓発に取り組んでまいります。具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	2
268	「平和の大切さを認識～」とあるが、「認識」だけでなく積極的な取り組みを行うことを明記すべき。また、ジェンダー平等の観点を明記すべきではないか。		2
269	多様な視点を確保するため、北九州市議会をはじめとする意思決定におけるクォータ制の導入を求める。		3
基本計画 第4章2-(2) 誰もが安心して暮らせる環境づくり			
270	「誰もが」の視点に、外国人も含めていただきたい。具体的には、文中の「誰もが」の後に「国籍や」の追加をお願いしたい。	ご意見を踏まえ、基本計画第4章2-(2)に国籍についての記述を追加します。具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	2
271	「国籍」の記述を加え、多文化共生の観点を取り入れてはどうか。また、安心して暮らせるには居住環境が最も重要なので、「保健・医療・介護・福祉・居住支援サービスを維持・充実する」としてはどうか。外国人向けの支援(特に居住)も強化することによって、外国人にとっても暮らしやすい、住み続けたい街になる。		2

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
272	高齢者が、介護におけるITの活用を含めた先端的DXの活用により、より幸せに暮らしていける都市づくりの観点があれば、より安心感が持てるのではないかと。	介護分野へのデジタル技術の活用については、基本計画第4章2-(2)に記述しています。	1
273	障がいをもつ人が安心して暮らせるよう取組を強化してほしい。差別がなくなり、健常者が理解し、共に助け合っ て、お互いより良い暮らしができるようになってほしい。	基本計画第4章2-(1)、(2)のとおり、障害を持つ人も安心して暮らせる環境づくりに取り組んでまいります。	1
274	北九州市は「障害者にやさしい街」だと思ってたが、自分がその立場になってそうでないことがわかった。とても悲しい。障害者も含め、みんなが優しく笑顔になれる街であってほしいと望む。市長には期待している。「障害者手帳を持たない障害者」にも安心で優しい街にしてほしい。		1
275	障害福祉を充実発展してほしい。		1
276	「～保健・医療・介護・福祉サービスを維持・充実するとともに、～」とあるが、現状維持では十分ではない。ユースクリニックの設置や手話通訳の無償提供など、様々なニーズを持つ人たちが安心して生活していけるようきめ細かな社会保障の提供には「サービスの充実」が必須であり、「維持」の文言の削除を求める。	少子高齢化、人口減少が進む状況においても、保健・医療・介護・福祉については、現在のサービス水準を維持するとともに、必要な拡充についても図っていくという趣旨で記述しています。	4
277	「保健・医療・介護・福祉サービスを維持・充実」とあるが、これらは「社会保障制度」であり、「行政の責任」ということを明確にすべき。	それぞれの政策における具体的な役割分担については、分野別計画等で提示してまいります。その中で、社会保障制度の維持・充実など、行政として取り組むべき政策については引き続き取り組んでまいります。	4
278	介護・福祉施設について、利用している人が「安らぐまち」で生活が継続できるよう、継続的な運営費補助金の増額、介護・福祉・保育の従事者の賃金アップ(市独自で)、経年劣化している施設への修繕補助金の交付を願いたい。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
279	福祉系大、高校界限に在る介護施設に臨時的に入り、施設の指導のもと、介護施設従事者として貢献出来た場合、従事学生に対して修学単位付与。		3
280	若松の岩屋は運転出来ない高齢者は通院や買い物でとても不便。コミュニティバスを要望したが難しいとのことだった。		3
281	相乗り可能なライドシェアがあれば高齢の方も気楽に移動でき、買い物や遊びに出やすい。		3
282	土日祝日はバスを運行してほしい。西鉄バスへの依存ではなく市営バスを活用すべき。		3
基本計画 第4章2-(3) 地域医療提供体制や保健衛生管理体制の充実			
283	北九州市立医療センターについて、建替え前提の議論を始めてほしい。場所は現所在地あるいは勝山公園など、小倉北区の便利な所とし、絶対に郊外に移転しないようにしてほしい。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
284	北九州市のインフルエンザ費用が高すぎるので、他の市と同レベルの金額にならないか。なぜ金額がちがうのか。		3

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
基本計画 第4章2-(4) 地域におけるコミュニティ活動などの活性化			
285	北九州市民は町内会加入を必須とするよう行政の指導をお願いしたい。市職員やOBの方々の率先参加・指導などもお願いしたい。	安らぐまちの実現においては、自治会や町内会をはじめとする地域コミュニティの活性化が重要であると考えており、基本計画第4章2-(4)に記述しています。市職員の自治会への加入促進についても、引き続き取り組んで参ります。	1
286	私の住む街では自治会や町内会から脱退する方が後を絶えない。加入を促すべき市職員でも加入していない方もいる。皆が安らいで暮らせるまちにするために良い知恵を市でも検討していただきたい。		1
287	町内会の役割を行政がすべて担う考えはないのか。市政よりも市民全員に配布。町内会は5人組制度と似ている。地域で互いを監視させて行政に刃向かわないようにしている。新しい発想で町作りに臨むなら新しい組織を検討しなければ永久に未来は来ない。		4
288	広範に「公助」が難しくなる中、「共助」をいかに市政において具体的にデザインするかが重要。「地域におけるコミュニティ活動などの活発化」だけでは、一部分しか担えないのではないかと。「多機能小規模自治」の理念のように「地域でできることは地域で」やっってもらう「だれも取り残さない」ような仕組みが必要。これを実現化するために「ただ働き」でなく、デジタル地域通貨を活用するなど誰もが取り組みやすい仕掛けを組み込むことが重要。	基本計画第4章2-(4)のとおり、様々な方々が地域活動に参加しやすい仕組みづくりを強化してまいります。具体的な取組へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	1
289	地域の巨大なネットワークが知らず知らずのうちにその地域の堅牢さにつながっていくのではないだろうか。他の地域の人とそのネットワークを知れば、羨ましくもなり、その一端に加わりたいと思い、その地域に人が集まってくるのではないだろうか。		1
基本計画 第4章2-(5) 生涯現役に向けた活動などの活性化			
290	社会人(というより、シニア層)だけの内容になっていて、若い世代が抜け落ちている。	基本計画第4章2-(5)において、「生涯を通じて」としており、若い世代の方々も含む趣旨で記述しています。	1
291	北九州市の図書館来館者数は、令和4年度実績で延べ300万人弱。生涯学習の拠点であり、数百人のボランティアがいて、多くの市民の社会参加の場所となっているにも関わらず、図書館の利用について、全く触れてないことはとても残念である。	新たなビジョンは今後のまちづくりの方向性を示したものであるため、具体的な施設などは記述していませんが、ご意見のとおり、図書館は生涯学習・社会教育の場として重要な役割を果たしており、今後も、ボランティアの皆様のご協力をいただきながら、利用促進を図ってまいります。	3
292	年配者向けの鉄棒や健康向上に繋がるような設備を公園に設けて欲しい。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
293	老人会(シニアサークル)撤廃による抜本的改革(イノベーション)構築。		3
294	老朽化した「年長者いこいの家」の再建。		3
基本計画 第4章3 子ども・子育ての「安心」を支える			
基本計画 第4章3-(1) 安心して生み育てることのできる環境の整備			
295	保育所問題に関して、「入りたいタイミングで望む保育所に入れる北九州」を目指してほしい。働き続けながら2人目以降は高い壁。女性が安心して子育てとキャリアを両立していけるような環境を目指して欲しい。また、保育士確保のため、早急に対策を講じていただきたい。	基本計画第2章2-(3)、基本計画第4章3-(1)のとおり、性別に関わらないキャリア形成や希望する方が安心して生み育てることのできる環境の整備に取り組んでまいります。具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	1
296	若者が定住するには、もっと市を挙げて婚活を強くプロデュースしたり、子どもを育てやすくする政策に財源を使ってほしい。		1

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
297	「安心して生み育てる」を「安心して子育てできる」と表現を変えてはどうか。生むことができない人もいるなか、「生み」という表現が気になる。また、官民共に産休育休や子育て支援休などを取りやすくし、子育てへの理解を深め、子育てできる環境をつくる取り組みを強化してほしい。	希望する方が安心して出産できる環境づくりも重要であると考え、「安心して生み育てる」という表現にしています。また、基本計画第2章2-(3)、基本計画第4章3-(1)のとおり、性別に関わらないキャリア形成や安心して子どもを育てられる環境づくりに取り組んでまいります。	4
298	基本計画第4章3-(1)に「教育費の負担軽減」「どの子どもも取り残さない教育条件の整備」などを明記すべき。	教育については、基本計画第3章3に記述しています。また同章3-(3)のとおり、誰一人取り残さない学びに向けた取組を進めてまいります。具体的な取組へのご意見は関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	1
299	病児保育について、「あずかるこちゃん」というアプリは空き状況確認や予約もしやすい。市内の病児保育施設で同じアプリを導入できるように支援してほしい。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
300	少子化対策として、出産祝い金、18歳までの公共施設無償化、小中学校の給食無償化、保護者の市民税免除などの「産めば産むほど有利なシステム」、「教育にお金がかからないまち」を提案する。費用は助成金版ネーミングライツとして企業寄付金で集める。		3
301	くちと体の発達が不十分な状態の子供たちが多く、月齢に合わせて離乳食を進めることは、離乳食が進まない原因の一つ。体の発達をみながら離乳食を進めることが重要。歯科衛生士や助産師、看護師が教える教室を追加すべき。全ての赤ちゃん教室の内容見直しが必要だと感じるので、検討してほしい。		3
302	主要駅構内に保育園を設置する。		3
基本計画 第4章3-(2) 子どもの健やかな成長への支援			
303	基本計画第4章3-(2)として、子どもたちや若い人たちが優れた文化芸術に触れることができる施策を積極的に推進する旨を追加してほしい。	文化芸術については、基本計画第3章2-(1)に記述しており、子どもたちを含む、あらゆる世代を対象に、文化芸術の振興に取り組んでまいります。	1
304	教育および学校改革(中学校)として、スクールポリスやサイバーポリス、スクールロイヤー、スクールカウンセラーの設置を提案する。また、いじめ対策として、「いじめ」という言葉を使わず、暴行罪など、犯罪だということを認識させる。被害者が逃げなくて良い、加害者に問題があるという視点で、加害者を隔離する。	新たなビジョンはまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
基本計画 第5章 人口増に向けた道筋			
305	人口減少への取組は本市の喫緊の課題として、より緊迫した表現があってもよいのではないかと。	人口減少への対応を喫緊の課題と捉えており、第5章を設け、これを記述しています。	1
306	人口減少対策という、ある意味この基本計画で最も重要な章であるのに、具体性に乏しく抽象的で、精神論や希望、願望に近い内容も多く、根拠データも無く、具体的なアクションも全く見えない。イメージだけのグラフやマンガ絵なども具体性の無さや根拠の薄さを誤魔化す意図が透けて見えて残念。いつの時点で何人の人口増を目指すのか、そのために何をどういったプロセスですすめていくのか、具体性と指標を持ったロードマップ等を示すべきではないか。今時点では何もプランがないと言っているのと変わらない。	人口の増加は産業競争力や生活環境の向上などによる都市の総合力が高まったことによる結果であると考えています。そのため、具体的な指標やロードマップを掲げることは困難ですが、基本計画では、社会動態の改善に合わせて、子育てや教育環境の向上などにより、自然動態についても改善を図り、中長期的な視点で、まずは人口減少のトレンドを増加に転換させていくこととしています。	4
307	人口減少はもう少し具体的に取り組む必要がある。すべての職業に光が当たるような政策が必要。若い世代の定着も大事だが、中堅の世代、共働きの世帯が置き去りにされているような気がする。	人口増加に向けては、3つの重点戦略により、都市の総合力を高めていく必要があり、基本計画では、多世代に対する様々な政策についても盛り込んでいます。	1
308	100万人復活は無理としても、人口を増やして、まちの活気を取り戻してほしい。	ご意見のとおり、都市の総合力を高め、人口の増加やまちの活性化に取り組んでまいります。	1

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
309	若い人達が就職で北九州市から離れていくという現状をどう理解しているのか。若い人に北九州市に就職してもらうには何が必要か。	若者に北九州市に定着してもらうためには、若者が働きたいと思う場所(企業等)をはじめ、魅力的な街並みや生活環境、わくわくするようなエンターテインメントなどが重要と考えています。また、北九州市のことを知ってもらうための情報発信にも戦略的に取り組む必要があると考えています。	1
310	人口増加施策として、市外への人口流出の削減と市内への流入者数の増加の記載があるが、具体的にどの都市への流出が多いのか、流入者をどこから呼んでくるか、ターゲットが何を求め移動しているのかで策略が変わる。	【参考】に記述しているとおり、福岡市、東京圏への転出超過が多い状況が続いています。また、20～30代の転出が多くなっています。ご意見のとおり、こうしたデータなどを踏まえ、効果的な取組を進めてまいります。	1
311	2040年を目標にするプランであれば当然、北九州市も人口は減少するであろうから、7区体制がいつまで続くのかということも戦略に据えるべきではないか。社会インフラや公共施設配置計画等にも影響がでる。再度「立地適正化」を厳しく見直さなければならない時期が来ているのでは。	都市の総合力の向上により、人口増への道筋をつくってまいりたいと考えており、行政区の再編は、新たなビジョンに記述していません。コンパクトシティや公共施設マネジメントについては、基本計画第4章のとおり、引き続き取組を進めてまいります。また、ご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	4
312	留学生など外国出身の若者の受け入れも重視すべき。「外国出身人材を含む20代や30代の若い世代を～」としてはどうか。	外国人の活躍や定着については、基本計画第2章2-(4)に趣旨に沿った記述をしています。	1
313	<将来推計人口を常に上回るイメージ>は北九州の人口を表したものであることを明記する必要がある。また、グレーと黒色の丸の凡例を記入する必要がある。	ご意見を踏まえ、基本計画第5章のイメージ図の記述を修正します。	2
314	<3つの重点戦略による～>の図のタイトルについて、図中の文言と合わせて「都市の総合力アップ⇒人口増加」とした方が良い。		2
315	<3つの重点戦略による～>の図の「稼げるまち」について、人口減少と国内市場の萎縮が進むなかで、市場(特にアジアをはじめとする国際市場)の開拓・確保がますます重要になることから、「国内外市場の開拓」を加える必要がある。	稼げるまちの実現に向けては、様々な政策を掲げており、イメージ図ではその全てを記述することはできませんが、ご意見のとおり、国内外市場の開拓も重要と考えています。	4
基本計画 第6章 主要な成果指標			
316	基本計画は、5年ごと、適宜計画の見直しを行うとしているが、目標値の設定根拠が明確でないと、適切な検証と見直しができない。算出根拠を明確化すべき。5年後の経済社会構造の変化については、正確に予測できない。目標値は、算出根拠を踏まえ、毎年検証することも必要。	成果指標は、基本計画で掲げる3つの重点戦略による取組の結果となる、アウトカム指標を掲げています。ご意見を踏まえ、基本計画第6章に指標の設定の考え方について、記述を追加します。また、新ビジョンを策定後、毎年度、行政評価により、基本計画で掲げた主要な政策に基づく施策や事業の取組状況やKPIの達成状況を把握していくこととしています。その結果を踏まえ、基本計画で掲げた成果指標の達成状況についても検証していくことを考えています。	2
317	数値目標は、具体的な施策・事務事業の実施計画を策定する段階で決定するものであり、基本計画(戦略)段階において、目標値を設定することは現実的ではない。根拠が曖昧な目標を無理に数値化すれば、数字が独り歩きし、施策や事務事業を実施する現場に混乱が生じたり、基本計画に対する信頼が確実に低下する。		2
318	成果指標の根拠が分からない。なぜその目標値になるのか。現状値がなぜその数字なのか、現状分析が出来るのか。目標数字の達成が何を意味するのか、北九州市がどうなるのかを教えて欲しい。		2
319	北九州市政変革推進プランと基本構想・基本計画は一体不可分のものであり、両者の調整を図りながら同時に確定すべき。市政改革による財政の健全化と基本計画の着実な実現は同時進行させることが不可欠。市政変革プランに先行して基本計画の中で成果指標を設定することには慎重な対応が必要。		北九州市政変革推進プランとの関係については、基本計画第1章6に趣旨に沿った記述をしています。

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
320	成果指標の多くについては、経済社会構造の変化という外部要因に大きな影響を受ける。市内総生産額(名目)など、外部要因の追い風が無ければ実現できない項目を成果指標とすることが本当に妥当だろうか。	ご意見のとおり、社会経済情勢などの外部要因が目標値の達成に影響を及ぼすことは承知するところですが、産学官民が一体となって、北九州市の総合力を高めていくとの考えのもと、挑戦が求められる高い数値目標を掲げています。また、概ね5年ごとに計画を見直すこととしており、社会経済状況なども勘案しながら、成果指標についても必要な見直しを行うことを考えています。	4
321	基本計画では、主要な成果指標を事前に設定せず、5年後の事業実施後の成果指標の変化を分析し、成果の評価を行うもの(事後評価方式)に変更してはどうか。		4
322	各主要な成果指標がどの施策を評価するものなのかははっきりしないため、明示してほしい。		2
323	各成果指標を達成しなければならない理由を示してほしい。		2
324	成果指標と基本計画で記述された内容との対応関係がわかると良い。1つの指標が複数の計画の成果指標になることもあるため、それぞれの指標が、「稼げるまち」「彩りあるまち」「安らぐまち」「都市の総合力」のどれに対応するのかわかるだけでも、指標の捉え方、分かりやすさが変わる。	ご意見を踏まえ、基本計画第6章に各指標と重点戦略の関連についての記述を追加します。	2
325	「稼ぐまち」を目指す以上、GDP4兆円は最低目標と思って、取り組むべき。	市内総生産4兆円については、市政発足以来超えたことのない数字であり、その達成には過去10年間の年平均成長率の2倍以上の成長が必要です。	4
326	市内総生産額(名目)の目標値が4兆円(2033年度)となっているが、日銀のインフレ目標が現行のままでいくとすると、特に市で施策を実施するまでもなく、達成できるものになる。	必ずしも容易な目標ではありませんが、産学官民が一体となって、北九州市の総合力を高めていくとの考えのもと、挑戦が求められる高い数値目標を掲げています。	4
327	稼げるまち、経済活性化を市民が実感できる成果指標を入れるべき。	ご意見を踏まえ、基本計画第6章に市民雇用者一人当たりの市民雇用者報酬などの成果指標を追加します。	2
328	指標に「温室効果ガス」を加え、2050年・ゼロカーボンを視野に、2030年までの積極的な削減目標を掲げ、指標に加えるべき。	「温室効果ガスの削減量」は3つの重点戦略における政策の成果を測る指標としては追加しませんが、北九州市地球温暖化対策実行計画において、2030年度に2013年度比47%以上削減することを掲げています。引き続き、その達成に向けた取組を進めてまいります。	4
329	基本計画において強調されている「産業」や「人材」に関する指標やそれらの「育成」に関する指標の追加が必要ではないか。	ご意見を踏まえ、基本計画第6章に従業者一人当たりの付加価値額などの成果指標を追加します。一方で人材やその育成に関する指標については、若者、高齢者、障がい者、外国人など広範に亘ることから、分野別計画において検証すべきものと考えており、ご意見は関係部局に伝え、今後の参考とさせていただきます。	2
330	「将来の夢や目標を持っている子どもの割合」は基本計画の成果指標としてふさわしくない。夢や目標が「SDGsの視点」「まちづくりや社会課題」とどのように関係するのかについても不明。この指標は基本計画との関係は薄く、「子供が夢を持っていることはいいことだ」という漠然とした大人の価値観が強く反映された指標であると判断できる。	「将来の夢や目標を持っている子どもの割合」は基本計画第3章3-(3)にある子どものウェルビーイング(身体的・精神的・社会的に良い状態にあること)の向上に向けた取組の成果を測るに適した指標であると考えています。	4
331	北九州市が健康寿命政令市1位を目指すということに大変共感した。ツールとしてフットケアと介護美容をぜひ取り入れてほしい。	健康寿命の延伸に向けた取組を進めてまいります。具体的な取組へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	1
332	健康寿命の延伸は大きなテーマであり、高齢者は頑張っている。		1

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
基本計画 第7章 7つの個性が輝くまちづくり			
333	行政区ごとではなく、例えば農業、商業といった視点でのゾーニングが必要ではないか。各区がそれぞれ同じような「小さなまち」を作るのは効率が悪い。予算も人も限られた状況では選択と集中が必要。「ビジョン」というより「区政概要」のような内容で残念。	基本計画第7章では、各区のそれぞれの地域資源を生かした特色あるまちづくりについて記述しており、「農業」や「商業」、「観光」という視点でのゾーニングについては、各分野別計画での記述を検討してまいります。ご意見を踏まえ、基本計画第7章の全体を説明する記述を追加し、区域を越えた地域間の連携を図りながら、主要政策の実現により、市全体の魅力向上と活性化につなげてまいります。	2
334	ただの区の紹介にすぎず、政策と直結する内容は無い。紙面の無駄なので記載は不要。		2
335	小倉北区の観光・歴史・文化・食についての「小倉城」の記述のあとに、北九州市の代表的な歴史や文化芸術に関する施設のひとつである北九州市立文学館を追加してほしい。	北九州市における唯一の文学館であり、重要な文化拠点であることから、ご意見を踏まえ、基本計画第7章2に記述を追加します。	2
336	小倉北区の中央図書館は、磯崎新氏が設計し、映画撮影にも使われるなど、市民への図書館サービスのみならず、観光客誘致にも大きく貢献している。素案にないのはとても残念。	特色や魅力のある施設が多数あり、基本計画ではすべてを記述できませんが、中央図書館などの磯崎新氏による建築物についても、貴重な地域資源であると考えています。	4
337	小倉南区の地域資源に「曾根の神幸祭・開作神事」が例示されていないのは非常に残念。	小倉南区の主要な行事であることから、ご意見を踏まえ、基本計画第7章3に「神幸行事」として記述を追加します。	2
338	八幡東区には日中に廻れる多くの観光資源があり、ショッピングセンターや皿倉山の夜景など一日滞在できるエリアとしてのポテンシャルは高い。しかし、各施設の連携が取れておらず、街としての盛り上げや一体感が感じられない。点としての魅力だけでなく、線(横の繋がり)での連携に取り組んで頂きたい。	基本計画第7章5-(2)のとおり、高い集客力を持つ地域資源の連携などに取り組んでまいります。	1
339	門司区の公共施設マネジメントのモデルプロジェクトについて、現在の資材高騰などを踏まえ、既存施設の活用により、現在の計画を減築するなど、大幅に見直すべき。また、先日発掘された旧門司駅、初代門司港駅構内の遺構は門司港駅や鉄道資料館と連携した鉄道観光資源として保存活用すべき。		3
340	小倉駅周辺などへの企業誘致を促すためにも、まちの更新の推進が必要。しかし、小倉駅周辺での大規模な面開発は困難。そこで、ミニ再開発も含め、行政主導が重要。またオフィスサポート機能導入時や小さなオフィスでも補助が得られるなど、補助メニューの拡充を図ることでよりオフィスが立地しやすい環境ができるのではないかな。		3
341	ウォーカブルなまちづくりを進めるため、小倉駅周辺エリアにおいてスローモビリティの拡充が必要。南北・東西軸を形成することで人々の往来を誘発することはできないか。また、中心部への車両流入を制限すべく、周辺部に集約駐車場を設け、歩いて中心部へ訪問するような仕組みづくりが必要ではないか。	新たなビジョンは今後のまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等へのご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
342	若松区島郷地区には江戸期の農村文化の名残が多数残されている。江戸期の文化を残し、また近代の労働力を生み出した農村である島郷に「江戸期の農村資料館」を建設し、一帯を「江戸期の農村」としてテーマパーク化してはどうか。		3
343	既存の施設を活用して北九州市の学術研究都市を目指したい。		3
344	若松区に新25区を作り、今光～用勺町にある空き地に、駐車場、避難所、会議室、学童保育施設などを備えた3階建ての公民館を建設する。		3

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。

新たなビジョン(北九州市基本構想・基本計画)(素案)に対する
市民意見の概要および市の考え方

【意見の反映状況】
1:既に掲載済
2:追加・修正あり
3:今後の参考とするもの
4:追加・修正なし
5:その他

番号	意見の概要	市の考え方	反映状況
345	人生の再出発の夢、希望を与える場所として、海や山を一望できる若松区大字藤木に「社会復帰促進センター」を誘致してはどうか。	新たなビジョンは今後のまちづくりの方向性を示したものであることから、具体的な取組等のご意見については、関係部局に伝え、今後の施策や事業等の参考とさせていただきます。	3
346	スペースワールド駅周辺が東西南北それぞれ分断されている。回遊性向上に一層のご尽力頂きたい。民間だけではハード面での施策は難しいため、東田大通り公園や洞海湾沿いの親水公園の利用促進施策については、官民学がチームを立ち上げ取り組んで欲しい。		3
347	八幡東区は企業が立地を検討するに十分なポテンシャルを持っているが、スペースワールド駅北側の臨港地区エリアが産業系企業の立地に対応した法指定となっていない。長期的な視野に立ち、時代のニーズを取り込んだ、企業が立地しやすい法規制の改訂等抜本的な変更への取り組みなどを進めて欲しい。		3
348	東田地区の施設周辺は植樹、草木の手入れが行き届いていないことが多く、景観が良くない。夜は暗く、怖い。植栽や歩道舗装等を見直し、映画等のロケ地で活用できる空間にしてはどうか。駅前の芝生広場は、デコボコがあり、イベント等での利用が限られる。スペースLABO外壁を利用し市のPRをしてはどうか。スペースLABOアネックスに「道の駅」を整備してはどうか。芝生エリアも防災拠点として活用できるよう、ベンチやパーゴラ等を設置してはどうか。		3
349	スペースワールド駅界隈から皿倉山ケーブル駅入口経由で八幡駅間にモノレール軌道を設ける。皿倉山が手軽な観光地として開発可能となる。		3
基本計画【参考】北九州市の人口の現状と将来見通し・これまでいただいた主な意見			
350	参考に各種データが提示され、データから読み取れることの記載はあるが、そのデータをどのように施策に活用したのかが記載がない。内閣府でもEBPMの推進が推奨されており、データを提示するのであれば、内容の解析結果などの考察を提示したうえで、コメントを募るべき。	参考に示したデータは、基本構想や基本計画に記載した北九州市における人口に関する現状を示したものです。基本計画で掲げた各政策を今後実現していく上で、データ活用によるEBPMの推進にも取り組んでまいります。ご意見については、関係部局に伝え、今後の参考とさせていただきます。	3
351	掲載意見のほとんどが肯定的なものばかり。本来参考にすべきはクレームではないか。おそらく大半の民間企業が参考にしていないのはクレームなどの否定的な意見ではないか。	ここで掲げたご意見は、目指す都市像などを検討する上で参考にしたものをご掲載しております。基本構想や基本計画の策定過程で寄せられた他の様々なご意見については今後の市政運営の参考にさせていただくため、関係部署とも共有をしています。	4
その他			
352	7つの個性が輝くまちづくりについては、よくまとまっていて、市民でありながら、知らないことも多く、大変勉強になった。		5
353	タウンミーティングを聞きに行ったが、人口対策について言及がなかったのは残念。		5
354	市長と活動団体とのランチタイムなどを設け、市民の活動を知る場を作ってほしい。		5
355	ペップトークという言葉の力で笑顔溢れる社会に変わって行くのではと願っている。		5
356	よし悪しの結果ばかり気にせずまずは「跳べ！」		5
357	北九州市は製鉄下請けの保守化した考えや構造がまだ強い。新しいものを育成する場合、そこに配慮が必要。		5
358	市長がかわられる前も今も福祉は手厚く感じるが、行政担当者に悪質な人が多い。ケアマネをしていて本当に感じるところ。		5
359	今回、チャレンジ補助金を活用してSNS、動画編集により力を入れて行こうと思う。		5
360	苅田町を北九州市に取込み、少しでも目に見える「北九州市」を形にしていく。		5
361	病院等の医療費請求兼領収書及び薬局の領収書を5年間保存から3年間保存にかえられないか。市単独では不可能だと思うので国に働きかけてほしい。		5
362	1円スマホを必要な全市民に配布。各社との契約は本人の責任とする。その他必要な情報を市民に知らせる。		5

※ご意見は一部を要約または分割して、項目ごとに整理して掲載しています。